

令和5年度 事業報告について

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

—目 次—

1	令和5年度基本理念、及び基本方針	3
1-1	基本理念	
1-2	基本方針	
2	ROIおよびKPI総括評価	4
2-1	地域貢献ROI	
2-2	平均消費額、満足度	
2-3	個別事業KPI目標達成率（51指標の平均値）	
2-4	事業別KPI達成状況	
2-5	ROI及びKPIの考え方	
2-6	ROI及びKPI総括評価	
3	活動総括評価	5
4	受託事業（市・その他組織から受託した事業）	7
4-1	市からの受託事業	
4-2	その他組織からの受託事業	
5	収益事業	12
6	公的事業	16
6-1	市補助及び自主財源事業	
6-1-1	「外貨獲得」戦略事業	
6-1-2	「内発循環」戦略事業	
6-1-3	「関係人口拡大」戦略事業	
6-1-4	「認知・理解・共感獲得」戦略事業	
6-1-5	「MICE誘致」戦略事業	
6-2	その他事業（自主財源事業/補助金活用事業）	
7	メディア掲載実績	34
7-1	新聞掲載実績	
7-2	テレビ等放送実績	
8	事務局組織図	38
9	会議（主体的に開催した会議）	38
10	名義後援等	39

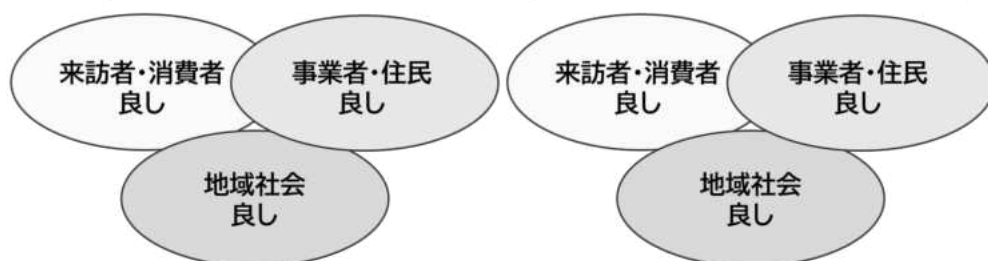
1 令和5年度基本理念、及び基本方針

1-1基本理念

1 基本理念・使命

「いま」と「未来」の三方良し

いま良し = 少し先の未来良し



「いま」と「少し先の未来」を意識した取組みを！

1-2基本方針

～戦略基本方針テーマ～ ともに、地域貢献・価値創造

① 外貨獲得

- ✓ 来訪者に地域で消費してもらえる仕組みを作る。
- ✓ 消費者に福島市産品を購入してもらえる仕組みを作る。
- ✓ 都市部住民に福島市に寄付、投資をしてもらえる仕組みを作る。

② 内発循環

- ✓ 地域事業者と競合せず、地域イノベーションに寄与するビジネスモデルを作る。
- ✓ 獲得した外貨が地域で循環する仕組みを作る。
- ✓ 市民から見れば「無価値」の商材を高付加価値化する。
- ✓ 循環の担い手を作り、ビジネスを成長させる仕組みを作る。
- ✓ 上記を持続的に支えるエコシステムを整える。

③ 関係人口拡大

- ✓ 共感来訪人口を増やす仕掛けを作る。
- ✓ 共感消費人口を増やす仕掛けを作る。
- ✓ 共感投資人口を増やす仕掛けを作る。
- ✓ ファンプール・タレントプールを作る。

④ 認知・理解・共感獲得

- ✓ 認知者を増やす仕掛けを作る。
- ✓ 理解者を増やす仕掛けを作る。
- ✓ 共感者を増やす仕掛けを作る。
- ✓ 認知から共感、共感から行動のジャーニーを作る。

⑤ 社会課題解決

- ✓ 社会課題とは、資本主義や民主主義による全体最適戦略の歪みのなかで解決が急がれるもの
- ✓ 個別にアクセスして不利益の解決をすることを「社会課題解決」と呼ぶ

2 ROIおよびKPI総括評価

2-1 地域貢献ROI（平均値）

- ・目標：10.0
- ・実績：11.8（算出根拠：1,697,816千円÷144,325千円）
※間接効果（広告換算費等）を含めたROIは、30.8
（算出根拠：4,444,087千円÷144,352千円）

2-2 平均消費額、満足度

- ・目標：消費額 25,827円 満足度50%
- ・実績：消費額 27,319円 満足度43%（※）
（福島市へのご宿泊ありがとうございますキャンペーンにもとづき検証）
※消費額は、宿泊料金（2名1室/1泊2食付の1名分料金）と現地消費額の合計
※満足度は7段階評価で最高評価「非常に満足」と回答した人の割合

2-3 個別事業KPI目標達成率（51指標の平均値）

- ・目標：100%
- ・実績：139.4%

2-4 事業別KPI達成状況

- ・受託事業（4指標）：135.5%
- ・収益事業（12指標）：223.4%
- ・外貨獲得戦略事業（9指標）：113.5%
- ・関係人口拡大戦略事業（1指標）：76.3%
- ・認知/理解/共感獲得戦略事業（17指標）：115.9%
- ・MICE誘致戦略事業（1指標）：131.4%
- ・その他事業（7指標）：98.5%

2-5 ROIおよびKPIの考え方

- ①地域貢献ROI（Return On Investment/投下資本利益率）算出方法
（地域貢献効果／直接効果＋間接効果）÷（投下額／事業費＋人件費）
 - ・直接効果：主に経済効果 ・間接効果：主にコマーシャル効果
 - ・目標を『ROI』とした理由：当会の存在意義は地域への貢献であるためROI数値が大きいほどレバレッジが効いている（貢献効率が低い）状態を意味する。
 - ・例：ROI『7.0』とは投下額1億円で、地域貢献効果が7億円におよぶ状態のこと。
- ②KPI（Key Performance Indicator/重要達成度指標）設定方法
 - ・KPI設定方法はOKR（Objectives and Key Results/目標と主要な結果）に拠る。
 - ・OKRとは、当会目標ROI『7.0』を達成するために講じる手段に対してKPI設定し、常に検証や補正を行う目標達成アプローチである。

2-6 ROIおよびKPI総括評価

①ROI（主要評価指標）

地域DMOとして地域貢献/価値創造を戦略基本に事業展開した結果、目標ROI『10.0』に対して『11.8』を達成することができた（広告換算費等など間接効果を含めた場合のROIは、30.8）。特にふるさと納税運営事業は地域貢献効果全体額の67.6%（1,148,412千円）を占め、ROIは『19.6』を記録するなど、地域貢献事業の大きな柱に成長している。

また、国補助事業（地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化/施設改修）も地域貢献効果全体額の30.6%（519,402千円）を占め、ROIは『237.1』を記録した。

②KPI（個別事業評価指標）

ROI『10.0』を達成するために講じる手段の評価指標である『KPI』については139.4%となり目標値を大きく上回った。

3 活動総括評価

令和7年度までの3カ年計画「VISION2025」戦略方針を掲げ、また、当年度は「不確実な時代。5年後の未来を見据えながら、“今”を動こう」のスローガンのもと、新しい体制でコロナ禍という新たな局面に向けてにスタートを切りました。前年度までの実績や経験を基に、未来に向けた組織の基盤整備に注力すると定め活動をした。

「外貨獲得」「内発循環」「関係人口拡大」「認知・理解・共感獲得」の活動方針ともに、各種事業へ取組んだ結果、各セクションにおいて過去最高レベルの成果を出すことができた。

■事業活動を通じた地域社会への貢献活動

①福島市ふるさと納税 寄附金額14億 5,800 万円

数値として3つのポイントがあると考ええる。

1. 寄付による税収 約7億円の獲得（納税額の5割）
2. 寄付による返礼品を通じた市内経済効果 約4億3700万円（納税額の3割）
3. 当協会活動自主予算4,100万円

寄附額は、4年連続で県内1位を獲得することができた。県外の類似返礼品取扱市町村と比較するとまだまだ伸びしろがある市場と考え、より市内事業者の方々との協業を強め、推進をしていく。

②福島市観光ノート

当協会が運営をするオウンドメディア「福島市観光ノート」は昨年以上の伸びを見せており、年間で400万PVを獲得することができた。市町村の観光HPでは類を見ないPV数で、着実に本サイトへのファンの獲得と定着化ができていていると考える。

それらができているのも、担当者を中心に市民ライターチームの地道な取材や記事作成によるものと、ピーチホリデー・アップルホリデー、ふるさと納税事業者紹介といった別事業とのコラボがうまくみ合ってきた成果である。

年度末頃から、令和6年度にかけて、観光ノートの改修の準備を進めている。「旅マエ」場面や認知場面に強みを置いてきたが、それら情報に加え、「旅ナカ」および旅行検討段階においてもユーザビリティの高い構成にしていく。

③ふくしまピーチホリデイ/アップルホリデイ 参加者 10 倍増

ピーチホリデイとして2年目(実証事業を含めると3年目)も、前年同様に多くの事業者の方々に参加を頂き、参加者数においては、前年度の10倍以上となる2,400人以上にまで増やすことができ、福島の桃、桃を活用したメニューを求めて多くの方に来福を頂くことができた。また、初年度の反響を引きずるように、今年度の開始当初からメディアからの取材を数多く取り上げられるようになったことも、「ピーチホリデイ」の認知度を上げられた要因であると考え。今後はより参加者にも事業者にも取り組み参加しやすいものと発展をさせつつ、国内のみならず国外へのプロモーションも注力していきたい。

④案内所/バリアフリーツアーセンター

新型コロナの5類移行以来、2019年度並みの来場者を出迎え対応をしている。スタンスはこれまで通り、「ハイタッチ型おもてなし案内」。福島を訪れた方とのハイタッチな接点づくりは今後も継続していく。

今年度から取り組み始めた、国内/国外の来訪者データ蓄積の取組によって、これまで経験に依存しがちだった来訪者嗜好が履歴として残り、分析ができるような環境が整いつつある。約1年ため続けた情報を分析し、各方面に役立つ情報として発信することに繋いでいきたい。

⑤データ分析能力の向上

地域DMOとして基礎データを収集するために実施している『福島市へのご宿泊ありがとうございますキャンペーン(デジタル宿泊者調査)』は、市内3温泉観光協会、市旅館ホテル協同組合の会員施設に協力いただき、前年度の約16800件に迫る15500件を収集することができた。

2年にわたってのべ3万を超える情報によって、来訪者属性や宿泊施設や福島市に対する来訪者の声が精度高く見るできるようになってきた。

また、上記④の案内所来訪者データに加え、今年度より「面的DX事業」として、市内宿泊事業者の協力のもの、宿泊データの共有のシステム構築を観光庁事業を活用して進めている。

これら、市内の様々な情報と、関係機関から提供のビッグデータ等を掛け合わせて、今後の戦略策定や戦術作戦に活用していくとともに、まとめデータ等の資料の会員の皆様への提供なども定期的に行っていく予定ある。

4 受託事業(市・その他組織から受託した事業)

4-1 市からの受託事業

事業名称	令和5年花見山観光客対応業務委託 (2月9日～6月30日)
報告担当者	高橋 康
事業内容	花見山観光案内所の設営や運営、手荷物預かり所の設置や運営、花見山公園内、及び物産広場の安全対策、コールセンターの開設、ボランティアガイドの活動費等支払事務、臨時駐車場整地作業、来訪者アンケート作業、花見山周辺の環境美化作業、車いす解除ボランティア活動費等支払事務など
事業目的	開花時期にあわせた受入態勢を整備することで、来訪者に安心して観光していただく環境を提供する。
事業目標(KPI)	福島市(花見山振興協議会)の事業目標に準ずる。
事業協力体制(主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市、受託:当会
売上/年	0円
費用/年	7,073,619円
売上総利益/年	1,008,081円
公益事業補助金投入額/年	8,081,700円(委託金額)
協会自主財源投入額/年	0円
事務局員対応延べ人数/年	2名(420,000円/300,000円+120,000円)
協会収益 ROI	ROI 0.05
売上総利益÷(投資額+人件費)	$1,008,081 \text{円} \div 7,493,619 \text{円}$ (事業費 7,073,619円+人件費 420,000円)=0.13
経済波及効果を受けた事業者数/年	25社(警備会社、コロナ対策物品購入、保険など)
地域への波及効果内容	・花見山やその周辺、及び市内観光関連施設等への経済波及効果 ・来訪者アンケートの結果 96.9%が満足との回答 ⇒回答者の 99.0%が家族や親しい人に福島を紹介したい。
メディア報道回数/年	0
メディア報道広告効果/年	0
SNS・WEB 発信回数/年	SNS(Twitter 108回)、WEB(HP133回更新)
SNS・WEB リーチ人数/年	SNS(Twitter 143,411)、WEB(PV 414,169)
来場者・購入者・申込者総数/年	77,000人
地域への波及効果(額)	合計効果 8,188,779円 直接効果 7,073,619円 間接効果 1,115,160円
地域への波及効果換算額に対する ROI	ROI 1.09
波及効果産出額÷(投資額+人件費)	$8,188,779 \text{円} \div 7,493,619 \text{円}$ (事業費 7,073,619円+人件費 420,000円)=1.09
特記事項	なし

事業名称	福島駅前軽トラ市情報発信事業業務委託 (4月1日～3月31日)
報告担当者	高橋ちひろ
事業内容	(1)情報発信業務 ・福島市観光案内所での PR ・SNS を活用した広告出稿

	(2)企画提案・管理・運營業務 ・WEB サイト運用(生産者の取材記事制作) ・動画制作 (3)アンケート集計業務
事業目的	市の農作物の魅力や安全性について正確な情報を全国へ発信し、放射能等の誤った認識をただすとともに、本市産農産物の魅力に関心を持ってもらうことにより、農産物の販売促進および販路拡大を図る。
事業目標(KPI)	福島市(農業振興課)の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市農業振興課 受託:当会、協力:マインドファクトリーサーキュラーエコノミー・ドット東京、 観光ノートライター
売上/年	0 円
費用/年	1,506,434 円
売上総利益/年	357,626 円
公益事業補助金投入額/年	1,864,060 円(委託金額)
協会自主財源投入額/年	0 円
事務局員対応延べ人数/年	1 名(実動 11 人日) 20,000 円×11 日=220,000 円
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人 件費)	ROI 0.17 357,626 円÷2,084,060 円(1,864,060 円+220,000 円)=0.17
経済波及効果を受けた事業 者数/年	6 事業者(WEB 取材および YouTube での紹介)
地域への波及効果内容	—
メディア報道回数/年	—
メディア報道広告効果/年	—
SNS・WEB 発信回数/年	YouTube 動画 1 本、Facebook・Instagram 広告 3 回
SNS・WEB リーチ人数/年	YouTube 動画 再生回数 581 回 効果額:1,162 円 Facebook・Instagram 広告 374,199imp 3,515clicks 効果額:818,698 円
来場者・購入者・申込者総数 /年	—
地域への波及効果(額)	合計 819,860 円 直接効果 0 円 間接効果 819,860 円
地域への波及効果換算額に 対する ROI 波及効果産出額÷(投資額 +人件費)	ROI 0.39 819,860 円÷2,084,060 円(1,864,060 円+220,000 円)=0.39
特記事項	なし

事業名称	福島市バリアフリーマップ更新業務委託 (4 月 1 日～3 月 31 日)
報告担当者	佐藤由香利
事業内容	福島市バリアフリーマップ掲載情報の追加・更新
事業目的	高齢者や障がい者、子育て世代、外国人などのすべての人が、移動する際及び施設利用時に必要な施設のバリアフリー 情報不足の課題解消・外出支援・利用促進
事業目標(KPI)	福島市(共生社会推進課)の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市(共生社会推進課)、受託:当会 協力:オーダーメイドジャパン
売上/年	0 円
費用/年	647,189 円

売上総利益／年	852,810 円
公益事業補助金投入額／年	1,499,999 円(委託金額)
協会自主財源投入額／年	0 円
事務局員対応延べ人数／年	1 名 600,000 円
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0.68 852,810 円÷1,247,189 円(投資額 647,189 円+人件費 600,000 円)=0.68
経済波及効果を受けた事業者数／年	地域 WEB サイト制作会社:1 社 建築設計事務所:1 社
地域への波及効果内容	合計 41 施設掲載 (宿泊 7・飲食 6・観光 1・トイレ 1・信用金庫 4・学習センター 22)
メディア報道回数／年	-
メディア報道広告効果／年	-
SNS・WEB 発信回数／年	SNS: 1 回
SNS・WEB リーチ人数／年	SNSPV:1,094 円
来場者・購入者・申込者総数／年	-
地域への波及効果(額)	・合計効果: 648,283 円 ・直接効果: 647,189 円 ・間接効果: 1,094 円
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 0.51 648,283 円÷1,247,189 円(投資額 647,189 円+人件費 600,000 円)=0.51
特記事項	なし

事業名称	ふくしまの特産品等魅力拡散キャンペーン業務委託 (7 月 11 日～3 月 29 日)
報告担当者	高橋ちひろ
事業内容	(1)特産品等魅力拡散キャンペーンの実施 ・Instagram ハッシュタグキャンペーン ・ふるさと納税返礼品レビューキャンペーン (2)オウンドメディア等制作改修
事業目的	本市ふるさと納税寄附者等をターゲットとした参加型情報拡散キャンペーンを実施することで、寄附者等を起点とした市の特産品(果物等)のブランド価値を広め高めるとともに本市魅力発信と関係人口創出・拡大を図り、本市ファンの拡大やふるさと納税寄附額増加に繋げることを目的とする。
事業目標(KPI)	福島市(政策調整課)の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市政策調整課、受託:当会、ラグソール、フェイス
売上／年	0 円
費用／年	2,102,037 円
売上総利益／年	367,463 円
公益事業補助金投入額／年	2,469,500 円
協会自主財源投入額／年	0 円
事務局員対応延べ人数／年	2 名(実動 12 人日) 14,000 円×3 日+20,000 円×9 日=222,000 円
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0.13 367,463 円÷2,691,500 円(2,469,500 円+222,000 円)=0.13
経済波及効果を受けた事業者数／年	返礼品取扱事業者:184 社
地域への波及効果内容	・事業者の商品・返礼品の口コミ増加

	・ふるさと納税の寄付額増
メディア報道回数／年	－
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB 発信回数／年	観光ノート記事 2 回 メールマガジン 2 回 Instagram 広告配信 5 回
SNS・WEB リーチ人数／年	Instagram 広告 1,668,974imp 27,377clicks 効果額 3,885,488 円
来場者・購入者・申込者総数／年	ハッシュタグキャンペーン投稿数 542 件 レビューキャンペーン応募数 738 件
地域への波及効果(額)	合計 3,885,488 円 直接効果 0 円 間接効果 3,885,488 円
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷(投資額＋人件費)	ROI 1.44 3,885,488 円÷2,691,500 円(2,469,500 円＋222,000 円) =1.44
特記事項	

事業名称	ふるさと納税事務委託事業 (4 月 1 日～3 月 31 日)
報告担当者	ガラール真紀
事業内容	福島市ふるさと納税運営業務
事業目的	①福島市の財源確保・拡大 ②農家を含む市内事業者の販路・売上の拡大 ③ふるさと納税を通じた関係人口拡大 ④地域課題の解消解決 ⑤事業収益の地域再投資による地域貢献
事業目標(KPI)	①ふるさと納税寄付額 1,500,000,000 円 (実績 1,458,521,800 円 達成率 97.2%) ②ふるさと納税寄付件数 56,000 件(実績 57,347 件 達成率 102%) ③関係人口創出・拡大(リピーター):1,500 人 (実績 4,106 名 達成率 273.3%) ④新返礼品による地域課題の解消解決 ⑤事業収益の地域再投資による地域貢献
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市 共催:当会
売上／年	(事務手数料)93,345,000 円
費用／年	46,163,000 円
売上総利益／年	47,182,000 円
公益事業補助金投入額／年	0 円
協会自主財源投入額／年	0 円
事務局員対応延べ人数／年	職員:1 名、パート職員:6 名、業務委託職員:2 名
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額＋人件費)	ROI 1.59 手数料 93,345,000 円÷58,638,000 円(事務費用 46,163,000 円 ＋人件費 12,475,000 円) =1.59
経済波及効果を受けた事業者数／年	返礼品取扱事業者:190 社、広告事業者:1 社 インターネット関連:3 社(HP1、RPA2) 配送事業者:1 社、郵便事業者:1 社、印刷事業者:4 社

地域への波及効果内容	ふるさと納税額 1,458,521,000 円 ①事業者への波及効果(返礼品代金) 419,152,000 円 ②福島市税歳入 729,260,000 円
メディア報道回数／年	県内新聞報道 5 回、TV 報道 1 回 オンラインメディア:29 回(PRTIMES 掲載記事参照・転載)
メディア報道広告効果／年	5,100,000 円
SNS・WEB 発信回数／年	観光ノート記事(新返礼品情報 2 回、キャンペーン情報 2 回) プレスリリース 3 回(新返礼品情報 2 回、勉強会開催 1 回) オンラインプレスリリース 2 回(新返礼品情報 2 回)
SNS・WEB リーチ人数／年	－
来場者・購入者・申込者総数／年	寄附件数 58,876 件
地域への波及効果(額)	合計 1,153,512,000 円 直接効果 1,148,412,000 円 間接効果 5,100,000 円
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷(投資額＋人件費)	ROI 19.67 $1,153,512,000 \text{ 円} \div 58,638,000 \text{ 円(事務費用 46,163,000 円} + \text{人件費 12,475,000 円)} = 19.67$
特記事項	9 月 29 日(金)第 1 回ふるさと納税返礼品勉強会開催 2 月 26 日(月)第 2 回ふるさと納税返礼品勉強会開催

4-2 その他組織からの受託事業

事業名称	大手メディア系旅行会社と連携したフルーツ増販売プロジェクト (5 月 1 日～12 月 31 日)
報告担当者	ガラール真紀
事業内容	メディア系最大手の旅行会社の顧客を対象とした EC モールでの福島市産フルーツ販売
事業目的	①観光農園協会会員の販路の維持 ②全国に会員数 200 万人以上を有するメディア系最大手の阪急交通社の顧客層に対するの福島産桃のブランドイメージ向上
事業目標(KPI)	・販売目標:合計 2,529,000 円 サクランボ(佐藤錦 50 箱、紅秀峰 50 箱) 390,000 円 モモ(あかつき贈答 200 箱、家庭 200 箱)1,470,000 円 リンゴ(2kg10 箱、3 kg 90 箱、5 kg 30 箱、訳あり 3kg70 箱) 669,000 円 ・販売成果:合計 1,731,550 円 サクランボ(佐藤錦 55 箱、紅秀峰 50 箱) 150,220 円 モモ(あかつき贈答 155 箱、家庭 199 箱)1,251,250 円 リンゴ(2kg8 箱、3 kg 18 箱、5 kg 13 箱、訳あり 3kg70 箱) 330,100 円
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:ホップス(阪急グループ) 協力:市、観光農園協会、当会
売上／年	1,731,570 円
費用／年	1,538,790 円
売上総利益／年	192,780 円
公益事業補助金投入額／年	0 円
協会自主財源投入額／年	0 円
事務局員対応延べ人数／年	1 人
協会収益 ROI	ROI 7.34 $192,780 \text{ 円} \div 26,250 \text{ 円} = 7.34$

売上総利益÷(投資額+人件費)	
経済波及効果を受けた事業者数/年	観光果樹園(4 農家)
地域への波及効果内容	観光果樹園に対する直接効果 1,197,900 円
メディア報道回数/年	0 回
メディア報道広告効果/年	0 円
SNS・WEB 発信回数/年	阪急交通社メルマガ:5 回(対象者:250 万人)
SNS・WEB リーチ人数/年	開封率不明につき、購入者をリーチ人数とする。 のべ 568 人×50 円=28,400 円
来場者・購入者・申込者総数/年	・購入人数:のべ 568 人
地域への波及効果(額)	・合計効果 1,226,300 円 ・直接効果 1,197,900 円 ・間接効果 28,400 円
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 46.71 $1,226,300 \div (0 + 26,250) = 46.71$
特記事項	・支援する農園は昨年より 2 軒減少 ・目標達成率は、前年度 76%に対し 68%に減少 ・夏の高湿障害により、りんごは受注上限数が前年の半分程度にとどまった。 ・通販事業 4 年目

委託事業(ROI対象外)

	実施時期	事業名	事業概要
1	8月～2月	インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業業務委託	ふくしま RISE が行う海外向け観光コンテンツ造成に対してサポートを行った。

5 収益事業

事業名称	案内所物販事業 (4 月 1 日～3 月 31 日)
報告担当者	柳沼 亜希
事業内容	福島市内・圏域事業者の商品及び福島市観光 PR キャラクター「ももりん」グッズの販売
事業目的	①福島のおすすめ商品の販売 ②店舗を持たない事業者の販路拡大 ③商品の試験販売 ④商品のファン・リピーターづくり
事業目標(KPI)	①委託販売事業:751,310 円(前年比 184%) ②ももりんグッズ販売事業:984,086 円(前年比 103%) ③参画事業者:17 事業者(前年比 113%)
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	・主催 当会
売上/年	1,735,396 円
費用/年	987,563 円

売上総利益／年	747,833 円
公益事業補助金投入額／年	0 円
協会自主財源投入額／年	0 円
事務局員対応延べ人数／年	・職員 3 名 パート職員 3 名(130,000 円)
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0.67 747,833 円÷1,117,563 円(投資額 987,563 円+人件費 130,000 円)=0.67
経済波及効果を受けた事業者数／年	・農家果樹園:3 社 ・こけし工人:2 社 ・地元新聞社:1 社 ・地元印刷会社:4 社 ・販売事業者:5 社 ・その他団体:2 社
地域への波及効果内容	987,563 円(仕入費)
メディア報道回数／年	・新聞 1 回 ・オンラインメディア 0 回 ・メディア 0 円
メディア報道広告効果／年	・合計:968,000 円 ・新聞:968,000 円 ・オンラインメディア:0 円 ・メディア:0 円
SNS・WEB 発信回数／年	福島市観光ノート:2 回、SNS:4 回
SNS・WEB リーチ人数／年	福島市観光ノート ・リーチ:6,995 人 SNS ・リーチ:15,474 人 ・アクション:438 回
来場者・購入者・申込者総数／年	来所者数:41,112 名(購入件数:1,388 件)
地域への波及効果(額)	・合計効果:6,272,111 円 ・直接効果: 987,563 円(仕入費) ・間接効果:5,284,548 円(来訪者 41,112 名に対する波及効果も含む)
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 5.61 ・6,272,111 円÷1,117,563 円(投資額 987,563 円+人件費 130,000 円)=5.61
特記事項	・物販売上:751,310 円 ・ももりんグッズ売上:984,086 円

事業名称	案内所斡旋事業 (4 月 1 日～3 月 31 日)
報告担当者	松本 幸枝
事業内容	①契約宿泊施設(福島市、二本松市)への宿泊斡旋 ②契約タクシー会社への送客斡旋
事業目的	①来訪者に滞在時間が長い宿泊を伴う滞在を選択してもらうことで地域経済波及効果の向上を図る。 ②接客を通じて目的を明確にしたアドバイスをを行うことで、来訪者の満足度向上を図る。 ③斡旋手数料を得ることで当会の収益とする。
事業目標(KPI)	1.1 定量目標 ①宿泊斡旋:100 件(8 件／1 ヶ月) ②タクシー斡旋:60 件(5 件／1 ヶ月) 1.2 定量成果 ①宿泊斡旋:103 件(前年比 104%) ②タクシー斡旋:70 件(前年比 200%) 1.2 目標達成率 ①宿泊斡旋:103% ②タクシー斡旋:116%

	2.1 定性目標 ①地域の魅力 PR に努め、宿泊客を増やすことにより経済波及効果の増加を図る。 ②地域におけるタクシーを利用した二次交通の利用促進を図る。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	・主催: 当会 ・協力: 福島市内宿泊施設及び二本松市内宿泊施設 大和自動車交通株式会社、福島貸切辰巳屋自動車株式会社
売上／年	383,584 円
費用／年	0 円
売上総利益／年	383,584 円
公益事業補助金投入額／年	0 円
協会自主財源投入額／年	0 円
事務局員対応延べ人数／年	・職員 3 名 パート職員 3 名、164,000 円
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 2.34 383,584 円÷164,000 円(投資額 0 円+人件費 164,000 円) =2.34
経済波及効果を受けた事業者数／年	福島市ビジネスホテル:9 社、飯坂温泉宿泊施設:10 社 土湯温泉宿泊施設:4 社、高湯温泉宿泊施設:2 社 岳温泉宿泊施設:1 社、福島市内タクシー事業者:2 社
地域への波及効果内容	事業者への波及効果:3,452,256 円
メディア報道回数／年	—
メディア報道広告効果／年	—
SNS・WEB 発信回数／年	福島市観光ノート:1 回
SNS・WEB リーチ人数／年	福島市観光ノート リーチ数 35,030
来場者・購入者・申込者総数／年	宿泊利用者:217 人、利用台数:70 台
地域への波及効果(額)	・合計効果:10,458,256 円 ・直接効果: 3,452,256 円 ・間接効果: 7,006,000 円
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 63.76 10,458,256 円÷164,000 円(投資額 0 円+人件費 164,000 円) =63.76
特記事項	なし

事業名称	案内所バリアフリー事業 (4 月 1 日～3 月 31 日)
報告担当者	佐藤由香利
事業内容	①小学生向け心のバリアフリー冊子作成および心のバリアフリー出前(おもてなし)講座による心のバリアフリー普及事業・委員会参加 ②車いす・ベビカルレンタル事業
事業目的	①心のバリアフリーの普及推進 ②外出の際の不安解消による観光誘客 ③子連れファミリーの荷物ストレス解消 ④お身体に障がいのある方、小さなお子様連れの観光誘客
事業目標(KPI)	①市購入冊数:3,100 冊(前年度比 94%) ②出前講座回数:8 件(前年度比 400%) ③車いすレンタル料:45,500 円(前年度比 1138%) ④ベビカルレンタル料:5,376 円(前年度比 47%)
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催: 当会 共催: 福島市(共生社会推進課)・福島市社会福祉協議会共同開発: ㈱MARS
売上／年	565,376 円

費用／年	297,330 円
売上総利益／年	268,046 円
公益事業補助金投入額／年	209,737 円(講師・委員報償費)
協会自主財源投入額／年	0 円
事務局員対応延べ人数／年	8 名:(480,000 円)
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0.34 268,046 円÷777,330 円(投資額 297,330 円+人件費 480,000 円) = 0.34
経済波及効果を受けた事業者数／年	地域広告会社:1 社 おもてなし講座受講事業者:約 86 社
地域への波及効果内容	参加者アンケートの結果 98%が「満足・まあまあ満足」と回答
メディア報道回数／年	新聞:4 回、オンラインメディア:4 回、テレビ:3 回、ラジオ 1 回
メディア報道広告効果／年	8,911,022 円
SNS・WEB 発信回数／年	SNS:7 回、観光ノート 2 回
SNS・WEB リーチ人数／年	合計 106,548 円 SNSPV:4,948 円、WEBPV:101,600 円
来場者・購入者・申込者総数／年	出前(おもてなし)講座受講者数:306 名
地域への波及効果(額)	・合計効果: 9,314,900 円 ・直接効果: 297,330 円 ・間接効果: 9,017,570 円
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 11.98 9,314,900÷777,330(投資額 297,330 円+人件費 480,000 円) =11.98
特記事項	【福島市心のバリアフリー(おもてなし)出前講座受講者】 5/29 飯坂温泉観光協会総会出席者 6/4 吉川屋 8/27 心のバリアフリー推進隊 10/27 向瀧別館瀧の音 11/7 福島信陵ライオンズクラブ、12/13 渡利中学校 1 年生 【心のバリアフリー(おもてなし)講座依頼先(市外)】 平田村社会福祉協議会、伊勢志摩バリアフリーツアーセンター

事業名称	案内所その他収益事業 (4 月 1 日～3 月 31 日)
報告担当者	松本 幸枝
事業内容	①ふくしまエールビジョンを利用した大相撲パブリックビューイング ②ももりん及びブラックももりん着ぐるみ貸出 ③ももりんキャラクター(商標登録)の管理
事業目的	①史上初の同時関取を目指す郷土力士「大波三兄弟」を市民と共に応援する。 ②福島市観光PRキャラクター「ももりん」と「ブラックももりん」を観光PRや広報、イベントなどで活用してもらい誘客や販売促進を図る。
事業目標(KPI)	1.1 定量目標 ①大相撲中継切替:15 日×6 場所(エールビジョン) ②ももりん着ぐるみ貸出事業:50 件 ③ももりんキャラクター使用料:30,000 円 1.2 定量成果 ①大相撲中継切替:15 日×6 場所(エールビジョン) ②着ぐるみ貸出事業:55 件(ブラックももりん 17 件含む) ③キャラクター使用料:29,040 円 1.3 目標達成率

	①100%、②110%、③88%
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	①大相撲中継切替 ・主催：株式会社ぶらっと WEB 放送、・協力：当会 ②ももりん着ぐるみ貸出事業 ・主催：福島市 ・協力：当会 ③ももりんキャラクター使用料 ・主催：当会
売上／年	201,253 円
費用／年	0 円
売上総利益／年	201,253 円
公益事業補助金投入額／年	0 円
協会自主財源投入額／年	0 円
事務局員対応延べ人数／年	・職員 3 名、パート職員 3 名、99,000 円
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	・ROI 2.03 201,253 円÷99,000 円(投資額 0 円+人件費 99,000 円)=2.03
経済波及効果を受けた事業者数／年	・印刷会社 3 社 ・販売事業者 4 社
地域への波及効果内容	-
メディア報道回数／年	・新聞 18 回(大相撲) ・オンラインメディア 5 回(大相撲)
メディア報道広告効果／年	・合計:9,792,500 円 ・新聞:9,515,000 円 ・オンラインメディア:277,500 円
SNS・WEB 発信回数／年	—
SNS・WEB リーチ人数／年	—
来場者・購入者・申込者総数／年	—
地域への波及効果(額)	・合計効果:9,792,500 円 ・直接効果: 0 円 ・間接効果:9,792,500 円
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 98.91 9,792,500÷99,000 円(投資額 0 円+人件費 99,000 円)=98.91
特記事項	大相撲パブリックビューイング(年 6 回)

6 公的事業

6-1 市補助及び自主財源事業

6-1-1 「外貨獲得」戦略事業

事業名称	ふくしまピーチホリデイ、ふくしまアップルホリデイ (4 月 1 日～3 月 31 日)
報告担当者	金澤 千裕
事業内容	1 参加事業者勧誘及びとりまとめ/相談対応 ・飲食/宿泊事業者・果樹園 2 規格外果実配送支援運営および請求代行 3 商品開発支援 4 観光ノートフルーツホリデイ関連フォロー 5 周遊企画運営および集計・分析・フィードバック 6 LINE/ホリデイ SNS 運用発信・問い合わせ対応
事業目的	市外へ流出している規格外果実を付加価値化し、域内経済循環をはかる。フルーツホリデイのフレームを作り、域内にサーキュラーエコノミーエコシステムの

	基盤を構築し、関係人口拡大及び観光コンテンツの磨き上げにより外貨獲得を目指す。		
事業目標(KPI)		ピーチホリデイ	アップルホリデイ
	参加事業者数	実績:61/前年:57 107%	実績:47/前年:29 162%
	参加果樹園数	実績:7/前年:6 116%	実績:6/前年:12 50 %
	コンテンツ造成数	実績:118/前年:111 106%	実績:90/前年:43 209%
事業協力体制(主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市観光コンベンション協会		
売上/年	0 円		
費用/年	9,261,540 円		
売上総利益/年	0 円		
公益事業補助金投入額/年	0 円		
協会自主財源投入額/年	9,261,540 円		
事務局員対応延べ人数/年	2 名/年 5,760,000 円		
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 0 円÷15,021,540 円(9,261,540 円 +5,760,000 円)= 0		
経済波及効果を受けた事業者数/年	ピーチホリデイ: 68 アップルホリデイ: 53		
地域への波及効果内容	規格外配送市内流通量 ピーチ: 1025 kg / アップル:727 kg		
メディア報道回数/年	ピーチホリデイ: 18 回 / アップルホリデイ:10 回		
メディア報道広告効果/年	ピーチ:75,139,903 円+アップル:29,164,885 円		
SNS・WEB 発信回数/年	福島市観光ノートX:13 回、ホリデイX:18 回		
SNS・WEB リーチ人数/年	福島市観光ノート X:インプレッション数 30,852 ホリデイX:インプレッション数 19,569		
来場者・購入者・申込者総数/年	ピーチホリデイ参加者数:2,418 名(前年 205 名) 1,179% アップルホリデイ参加者数:552 名(前年 336 名) 164%		
地域への波及効果(額)	104,257,237 円(間接効果のみ)		
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 6.94 104,257,237 円÷15,021,540 円(投資額 9,261,540 円 +人件費 5,760,000 円)= 6.94		
特記事項	ピーチホリデイは県外からの来訪客へPRできてきたが、アップルホリデイの参加者は市民が 40%を占めており、後半に進むにしたがってアップルの特設サイト閲覧数も伸び悩んでいた。2 年間実施しアンケートデータも増えてきたため、明確なペルソナ像が洗い出せるようになってきた。今後はピーチとアップルそれぞれのペルソナごとにより一層ホリデイファンに刺さる施策を打ち出していく。		

事業名称	台湾プロモーション事業 (4 月 1 日～3 月 31 日)
報告担当者	高橋 康
事業内容	1)福島市が主催する現地プロモーション(日本観光物産博商談会)への参加、現地旅行会社セールスコール

	2)台北国際旅行博の現地視察 3)東北観光推進機構が主催する現地プロモーション(日本東北遊楽日商談会)への参加及び桃園市復興区農会訪問 4)日本国内で開催される台湾市場向けプロモーションへの参加
事業目的	1)当市のインバウンド重点ターゲットである台湾市場から宿泊も含めた観光誘客を図るため、旅行商談会やセールスコールへの参加を通して、現地旅行会社等との関係作りを行う。 2)台湾で有名な桃の産地である拉拉山(桃園市復興区)との交流を通じて、福島市の特産品である桃に対する台湾人の趣向を探るとともに、桃をテーマとした日台交流のきっかけ作りを行う。
事業目標(KPI)	定量目標 ・現地担当者の連絡先収集(名刺交換等) 90名/実績53名(58%) ・令和5年度の市内宿泊受入数 200人泊/実績240人泊(達成率120%) 定性目標 ・コロナ後の本格展開に向けて台湾現地旅行社や現地企業、インフルエンサー、関係者とコネクション作りを行う。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催 福島市観光コンベンション協会 協力 福島市、飯坂温泉観光協会、土湯温泉観光協会、高湯温泉観光協会
売上/年	0円
費用/年	1,162,057円
売上総利益/年	0円
公益事業補助金投入額/年	932,000円
協会自主財源投入額/年	230,057円
事務局員対応延べ人数/年	3名(592,000円)
協会収益 ROI	ROI 0
売上総利益÷(投資額+人件費)	$0 \div 1,754,057 \text{円} (\text{投資額 } 1,162,057 \text{円} + \text{人件費 } 592,000 \text{円}) = 0$
経済波及効果を受けた事業者数/年	7社(宿泊先、現地への土産物代など)
地域への波及効果内容	台湾からの5ツアー(約240名)の市内宿泊
メディア報道回数/年	—
メディア報道広告効果/年	—
SNS・WEB 発信回数/年	—
SNS・WEB リーチ人数/年	—
来場者・購入者・申込者総数/年	—
地域への波及効果(額)	合計 3,250,430円 直接効果 100,430円 間接効果 3,150,000円
地域への波及効果換算額に対する ROI	ROI 1.85
波及効果産出額÷投資額+人件費)	$3,250,430 \text{円} \div 1,754,057 \text{円} (\text{投資額 } 1,162,057 \text{円} + \text{人件費 } 592,000 \text{円}) = 1.85$
特記事項	東北観光推進機構や福島県による現地プロモーションも盛んに行われているが、現時点の台湾市場において旅行先としての福島市が十分に認知されているとは言い難い。引き続き関係者とも連携しながら、福島市の魅力を伝えていく。令和5年10月、桃園市復興区農会の協力で、福島市情報の発信

	基地(福島市観光コンベンション協会台湾事務所)を現地に設置した。
事業名称	タイプロモーション事業 (4月1日～3月31日)
報告担当者	横葉 純一
事業内容	タイ旅行会社等向け BtoB 商談資料の制作・翻訳
事業目的	タイ国からの訪日旅行誘客を拡大させるため、2024 年度以降、積極的に活動をしていく。団体、FIT とともに受入体制の準備やプロモーション活動を推進していくためのツールの造成
事業目標(KPI)	制作資料:1 式 印刷部数:50 部
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	福島市観光コンベンション協会 制作サポート/翻訳:Ace Community(バンコク)
売上/年	0 円
費用/年	332,000 円
売上総利益/年	0 円
公益事業補助金投入額/年	福島市)組織運営補助金 332,000 円
協会自主財源投入額/年	0 円
事務局員対応延べ人数/年	職員 3 名(横葉・高橋康・高橋ちひろ) 合計業務時間 延べ 5 時間
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	協会収益 ROI 0 0 円÷(332,000 円+100,000 円)
経済波及効果を受けた事業者数/年	制作委託会社 1 社
地域への波及効果内容	プロモーションツールに掲載された市内事業者数 30 事業者
メディア報道回数/年	0 回
メディア報道広告効果/年	-
SNS・WEB 発信回数/年	-
SNS・WEB リーチ人数/年	-
来場者・購入者・申込者総数/年	-
地域への波及効果(額)	合計効果 0 円 直接効果 0 円 間接効果 0 円
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷投資額+人件費)	ROI 0 0 円÷(332,000 円+100,000 円)
特記事項	今年度は、次年度に向けた準備作業のため、制作したツールの対外的な活用は 2024 年度以降。

事業名称	「ちょうどいい旅、ふくしまステイ。」ブランディングプロモーション (4月1日～3月31日)
報告担当者	高橋 康
事業内容	福島市が 2021 年に発表したコンセプト「ちょうどいい旅、ふくしまステイ」について、福島市と歩調を合わせながら、主に観光案内所にてブランド浸透を意図した展開を実施する。

事業目的	首都圏からのアクセスのしやすさ、市内のさまざまな観光スポット、一人でもグループでも家族の誰とでも楽しめる旅行環境など「ちょうどいい」地域の魅力を発信することで、「ちょうどいい旅、ふくしまステイ」のブランディングを図る。
事業目標(KPI)	福島市(観光交流推進室)の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市観光コンベンション協会、協力:福島市
売上/年	0 円
費用/年	1,786,700 円
売上総利益/年	3,000 円
公益事業補助金投入額/年	1,470,000 円
協会自主財源投入額/年	313,700 円
事務局員対応延べ人数/年	・職員 3 名 パート職員 3 名(170,000 円)
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 $0 \div 1,956,700 \text{ 円(事業費 1,786,700 円+人件費 170,000 円)} = 0$
経済波及効果を受けた事業者数/年	市内 9 社
地域への波及効果内容	10 社 ・デザイン、看板製作など
メディア報道回数/年	—
メディア報道広告効果/年	—
SNS・WEB 発信回数/年	—
SNS・WEB リーチ人数/年	WEB「ちょうどいい旅ふくしまステイ」 PV4,626
来場者・購入者・申込者総数/年	—
地域への波及効果(額)	合計効果 1,791,326 円 直接効果 1,786,700 円 間接効果 4,626 円
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷投資額+人件費)	ROI 0.91 $1,791,326 \text{ 円} \div 1,956,700 \text{ 円(事業費 1,786,700 円+人件費 170,000 円)} = 0.91$
特記事項	なし

事業名称	デジタルアンケート調査(福島市へのご宿泊ありがとうキャンペーン) (4 月 1 日～3 月 31 日)
報告担当者	高橋 康
事業内容	市内観光関連 5 団体(飯坂温泉観光協会、土湯温泉観光協会、高湯温泉観光協会、福島市旅館ホテル協同組合、当会)会員等の宿泊施設 86 軒に協力いただき、福島の名産品を賞品とした来訪者デジタルアンケート調査を実施。合計 15,000 名を超える宿泊者に回答いただき、福島市や宿泊した施設、市内観光スポット等に対する満足度、域内消費額など、収集したデータを分析して、更なる地域ブランディングに役立てる。集計データは分析して『見える可』を行い、協力施設に対して報告会を行う。
事業目的	①来訪者の特徴をマクロ、ミクロ両面から分析することで、当会が地域 DMO として各種施策を展開するうえでの基礎データを収集する。 ②分析結果を宿泊施設等に共有することで、各施設の事業戦略策定に役立ててもらう。
事業目標(KPI)	定量目標 ・回答者 16,862 名(2022 年調査実績) 成果 15,325 名 達成率 90% 定性目標

	・市内すべての宿泊施設に協力いただくとともに、収集・分析したデータを1軒でも多い宿泊施設の戦略策定に活用いただく。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催 福島市観光コンベンション協会 協力 飯坂温泉観光協会、土湯温泉観光協会、高湯温泉観光協会、福島市旅館ホテル協同組合及び当会会員宿泊施設、左記以外で宿泊割等キャンペーンに参加している施設
売上／年	0 円
費用／年	1,518,421 円
売上総利益／年	0 円
公益事業補助金投入額／年	0 円
協会自主財源投入額／年	1,518,421 円
事務局員対応延べ人数／年	5 名(668,000 円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	$0 \div 2,186,421 \text{ 円} (1,518,421 \text{ 円} + 668,000 \text{ 円}) = 0$
経済波及効果を受けた事業者数／年	14 社(賞品提供事業者、印刷会社)
地域への波及効果内容	1,518,421 円
メディア報道回数／年	－
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB発信回数／年	－
SNS・WEBリーチ人数／年	－
来場者・購入者・申込者総数／年	応募者 15,325 名
地域への波及効果(額)	合計 1,518,421 円 直接効果 1,518,421 円 間接効果 0 円
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 0.69 $1,518,421 \text{ 円} \div 2,186,421 \text{ 円} (1,518,421 \text{ 円} + 668,000 \text{ 円}) = 0.69$
特記事項	・当事業の ROI は低いが、地域 DMO としてデータに基づく地域作りを進めるうえでは欠かすことのできない事業となっている。 ・収集した個別データは、データ提供を希望する協力施設に対してフィードバックしている。次年度に協力データ分析報告会を開催予定。

6-1-2 「内発循環」戦略事業(ROI対象外)

	実施時期	事業名	事業概要
1	4月～3月	域内小規模供給の仕組み作り (配送支援)	域内小規模サプライチェーンの欠如が認められたことから、現実的問題解消の足掛かりとして、フルーツに関するサプライチェーンの安定化を企図する。桃を中心としたフルーツ(規格外品)を、市内飲食事業者に安定的に供給する貯めの支援。

6-1-3 「関係人口拡大」戦略事業

事業名称	福島市バリアフリーマスタープランに即した活動 (4月1日～3月31日)
報告担当者	佐藤由香利
事業内容	①「また来たくなるふくしまのおもてなし」冊子改定普及 ②盲導犬ユーザー受け入れセミナー企画運営

事業目的	①障害者差別解消法改正の理解促進、おもてなし力向上 ②盲導犬ユーザー受け入れ拒否の課題解決、観光事業者の対応力向上・理解促進
事業目標(KPI)	セミナー参加者 目標:80名 成果:61名 達成率:76%
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:当会 共催:福島県 後援:福島市・福島市社会福祉協議会 協力:㈱日進堂印刷所印刷、グランパークホテルエクセル福島恵比寿、YUMORI ONSEN HOSTEL
売上/年	0円
費用/年	451,224円
売上総利益/年	0円
公益事業補助金投入額/年	442,000円
協会自主財源投入額/年	9,224円
事務局員対応延べ人数/年	3名(388,000円)
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 $0 \div 839,224 \text{円}(451,224 \text{円} + 388,000 \text{円}) = 0$
経済波及効果を受けた事業者数/年	地域印刷会社:1社 地域宿泊事業者:2社
地域への波及効果内容	参加者アンケートの結果 97%が満足と回答
メディア報道回数/年	1回/年
メディア報道広告効果/年	638,000円
SNS・WEB 発信回数/年	SNS: 10回 観光ノート: 1回
SNS・WEB リーチ人数/年	合計: 47,680円 SNSPV: 16,680円 WEBPV: 31,000円
来場者・購入者・申込者総数/年	セミナー参加者 61名
地域への波及効果(額)	・合計効果: 1,136,904円 ・直接効果: 451,224円 ・間接効果: 685,680円
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷投資額+人件費)	ROI 1.35 $1,136,904 \text{円} \div 839,224 \text{円}(投資額 451,224 \text{円} + 人件費 388,000 \text{円}) = 1.35$
特記事項	なし

事業名称	市内施設、事業者のハード/ソフト両面へのバリアフリーコンテンツの造成支援マーケティング活動(4月1日～3月29日)
報告担当者	佐藤由香利
事業内容	①障がいある方の観光モデルコース造成 ②歩行困難な花見山来訪者に快適に花見観光いただくため活躍いただく介助ボランティアビブスおよび車いす用ジェルクッションの購入
事業目的	①障がいある方でもくだもの狩りができることの周知誘客および福祉タクシー利用による同行者の負担軽減プランの普及・観光誘客向上 ②花見山来訪の歩行困難な方が車いすに乗車時の衝撃を軽減し、快適な花見観光による満足度向上・おもてなし力強化
事業目標(KPI)	—
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:当会 協力:大和自動車交通㈱・仙台バリアフリーツアーセンター、日進堂印刷所

売上／年	0 円
費用／年	417,478 円
売上総利益／年	0 円
公益事業補助金投入額／年	480,000 円
協会自主財源投入額／年	0 円
事務局員対応延べ人数／年	2 名:(254,000 円)
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 0÷671,478 円(投資額 417,478 円+人件費 254,000 円) =0
経済波及効果を受けた事業者数／年	5 社(観光果樹園・飲食店・交通・ライター・印刷事業者)
地域への波及効果内容	福祉タクシーのドライバーがヘルパーの資格を有するため、くだもの狩り畑内の移動に不安があった果樹農家や旅行者の不安解消になった。
メディア報道回数／年	合計 2 回 ・新聞 1 回 ・WEB メディア 1 回
メディア報道広告効果／年	2,329,300 円
SNS・WEB 発信回数／年	SNS:9 回 観光ノート:1回
SNS・WEB リーチ人数／年	合計: 142,026 円 SNSPV: 25,626 円 WEBPV: 116,400 円
来場者・購入者・申込者総数／年	-
地域への波及効果(額)	・合計効果: 2,888,804 円 ・直接効果: 417,478 円 ・間接効果: 2,471,326 円
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷投資額+人件費)	ROI 4.30 2,888,804 円÷671,478 (投資額 417,478 円+人件費 254,000 円) = 4.30
特記事項	なし

「関係人口拡大」戦略事業(ROI対象外)

	実施時期	事業名	事業概要
1	4 月～3 月	先進地域の理論・技術導入の仕組み作り	地域や地域事業者に利益をもたらすための組織として国内外の先進地域の理論や技術の導入を図ることを目的に、積極的に市外組織等との連携を図る。

6-1-4 「認知・理解・共感獲得」戦略事業

事業名称	人対人による交流接点のさらなる強化・福島市観光案内所(4 月 1 日～3 月 31 日)
報告担当者	柳沼 亜希
事業内容	人対人(リアルメディア)による交流拠点・米国デンパースタイルによるハイタッチ型おもてなし案内
事業目的	①市民と共に作るおもてなし交流 ②徹底した対面案内によるハイタッチ型の接点づくり ③福島の魅力発信による関係人口拡大 ④来訪者回遊による経済波及効果の拡大 ⑤ふるさと納税や移住への誘引
事業目標(KPI)	1.1 定量目標 ①来訪者数 ・目標:30,000 人/年 ・成果:41,112 人 ・達成率:137%②レコメンドサ

	イトによる評価 A.Google ビジネスプロフィール ・目標:評価 5 ・成果:評価 4.5 ・達成率:90% B.トリップアドバイザー ・目標:評価 5 ・成果:評価 3.5 ・達成率:70% ③デジタルサイネージによる情報発信 C.イベント情報配信掲載 ・市内イベント 掲載数:250 件 ・11 市町村関連 掲載数:65 件 ・ピーチホリデイ PR スライド配信 6,600 回(期間中) ・アップルホリデイ PR スライド配信 4,950 回(期間中) ・ふるさと納税スライド配信 12,960 回(年間) ④タッチ式デジタルサイネージコンテンツ利用 D.方言クイズ ・目標:300 件 ・成果:464 件 ・達成率:154% E.温泉クイズ ・目標:150 件 ・成果:267 件 ・達成率:178% 2.1 定性目標 地域の情報や魅力を紹介し、ファンづくりを行い関係人口拡大に努める。市内回遊につなげることで経済波及効果を図る。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	・主催:当会 ・協賛:地元クリエイター 2 社、地元企画会社 1 社、 ・協力:福島市、多言語コンシェルジュ、市民コンシェルジュ・ジュニア
売上/年	12,000 円(ワークショップ販売手数料)
費用/年	0 円
売上総利益/年	12,000 円
公益事業補助金投入額/年	0 円
協会自主財源投入額/年	0 円
事務局員対応延べ人数/年	・職員 3 名 パート職員 3 名(4,860,000)円
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0.002 12,000 円÷4,860,000 円(投資額 0 円+人件費 4,860,000 円) =0.002
経済波及効果を受けた事業者数/年	・地元クリエイター 2 社 ・地元企画会社 1 社 ・ワークショップ事業者:1 社 ・案内による観光施設、宿泊施設、飲食店、販売店、キャンペーン参加事業者
地域への波及効果内容	来訪者市内観光 PR 41,112 人 電話による観光 PR 2,524 件 キャンペーンによる市内回遊促進
メディア報道回数/年	・新聞 9 回 ・オンラインメディア 3 回 ・メディア 2 回
メディア報道広告効果/年	・合計:15,801,500 円 ・新聞:14,427,000 円 ・オンラインメディア:704,500 円 ・メディア:670,000 円
SNS・WEB 発信回数/年	福島市観光ノート:18 回 SNS:57 回 Google ビジネスプロフィール:15 回
SNS・WEB リーチ人数/年	福島市観光ノート ・リーチ:55,256 人 SNS ・リーチ:158,925 人 ・アクション:5,239 回 Google ビジネスプロフィール ・リーチ:25,844 回
来場者・購入者・申込者総数/年	来訪者数:41,112 人

地域への波及効果(額)	・合計効果:30,205,014 円 ・直接効果:26,000 円(ワークショップ事業者売上) ・間接効果:30,179,014 円
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷投資額+人件費)	ROI 6.22 $30,205,014 \text{ 円} \div 4,860,000 \text{ 円(事業費 0 円+人件費 4,860,000 円)} = 6.22$
特記事項	【福島シティーハーフマラソン大会】 ・福島県立視覚支援学校協力によるクイックマッサージ体験コーナー開設(5月21日) 【ピーチホリデイ・ワークショップ】 ・桃の剪定枝を使ったペンダントづくり 参加:7名(8月6日、8月27日) 【アップルホリデイ・ワークショップ】 ・りんごストラップづくり体験 参加者 24名(11月1日~1月31日) 【移住相談窓口コーナー開設】 相談件数 30件 (12月28日~1月9日)※12月29日~1月2日除く 【展示】 ・姪のメイ台本展示(10月10日~10月27日) ・ふるさと納税案内カウンター(12月15日~12月31日)

事業名称	多言語コンシェルジュ事業 (4月1日~3月31日)
報告担当者	柳沼 亜希
事業内容	様々な言語を得意とする市民コンシェルジュと共にハイタッチ型のファンづくり
事業目的	①対面案内によるハイタッチ型のファンづくり ②福島の魅力発信による関係人口拡大 ③来訪者回遊による地域経済波及効果の拡大 ④訪日外国人への対応 ⑤未来の観光人材育成
事業目標(KPI)	1.1 定量目標 ・来訪者:30,000人 ・外国人:1,700人 1.2 定量成果 ・来訪者:41,112人 ・外国人:1,829人 1.3 目標達成率 ・来訪者:137% ・外国人:107% 2.1 定性目標 地域の情報や魅力を案内し、ファンづくりを図る 回遊につなげることで地域経済波及効果を図る
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	・主催:当会 ・協賛:多種多様なキャリアを持つ市民の参画 (講師、ライター、育児世代、引退世代、学生)
売上/年	0 円
費用/年	3,622,389 円
売上総利益/年	0 円
公益事業補助金投入額/年	3,330,000 円
協会自主財源投入額/年	292,389 円
事務局員対応延べ人数/年	・市民コンシェルジュ 10名 ・ジュニア・コンシェルジュ 2名 ・1日3名×3h 3交代
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 $0 \div 3,622,389 \text{ 円(事業費 3,622,389 円)} = 0$

経済波及効果を受けた事業者数／年	—
地域への波及効果内容	案内を通じて地域内の各施設(観光施設、宿泊施設、飲食店、キャンペーン参加事業者)に送客
メディア報道回数／年	・新聞報道 1 件
メディア報道広告効果／年	11,160,000 円
SNS・WEB 発信回数／年	—
SNS・WEB リーチ人数／年	—
来場者・購入者・申込者総数／年	来訪者数:41,112 人
地域への波及効果(額)	・合計効果:17,660,229 円 ・直接効果: 3,622,389 円 ・間接効果:14,037,840 円(来場者 41,112 名に対する波及効果も含む)
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷投資額+人件費)	ROI 4.88 17,660,229 円÷3,622,389 円(事業費 3,622,389 円+人件費 0 円)=4.88
特記事項	なし

「認知・理解・共感獲得」戦略事業(ROI対象外)

	実施時期	事業名	事業概要
1	4 月～3 月	SNS の分析調査事業	SNS 評価の良し悪しを問わず、口コミを奨励することで、消費や来訪意欲を向上させるための取組。ソーシャルインサイトを年間契約
2	4 月～3 月	ガイドマップ等作成事業	プロモーション活動や花見山来訪者に対する紹介を目的としたパンフレット類の作成 発行したパンフレット ・福島市観光ガイドマップ(4 万部) ・旅のレシピ(3 万部) ・花見山ガイドマップ日本語版(8 万部) ・花見山ガイドマップ英語版(1 万部) ・乳白バック(2 万枚) ・福島市繁体字パンフレット(5 千部)
3	4 月～3 月	福島駅来訪者へのウェルカム演出事業	福島駅発車メロディーを古関メロディーにするための JASRAC 利用料

6-1-5 「MICE 誘致」戦略事業

事業名称	MICE 誘致支援 (4 月 1 日～3 月 31 日)
報告担当者	村田 崇
事業内容	国際、国内 MICE の開催を福島市に誘致するため、大会主催者である各種学会、大学教授、研究者、ミーティングプランナーなどへ継続的な営業活動を行う。また、年に数回開催される MICE 商談会にも福島市の担当課と共に積極的に出展し、誘致活動を行う。また、開催支援についても補助金を始め、各種支援メニューの開発、提供を行っている。
事業目的	・MICE 開催中における市内への経済波及効果の最大化 ・開催後の関係人口、交流人口の構築
事業目標(KPI)	①定量目標 商談数 35 件 ②定量実績 商談数 46 件(昨対 127%) ③目標達成率 131%

	④定性目標 ・福島市での開催における目的、メリット、魅力などを紹介し、開催実現につなげる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市観光コンベンション協会、 協力:福島市商工観光部コンベンション施設整備課
売上/年	0 円
費用/年	3,096,661 円
売上総利益/年	0 円
公益事業補助金投入額/年	3,000,000 円
協会自主財源投入額/年	96,661 円
事務局員対応延べ人数/年	職員 3 名 4,220,000 円
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 0 円÷7,316,661 円(事業費 3,096,661 円+人件費 4,220,000 円) =0
経済波及効果を受けた事業者数/年	市内 5 社
地域への波及効果内容	開催誘致、支援に関わる物品購入(チラシ作成、菓子、記念品等)会場内での物品販売(果物、弁当、お菓子等)
メディア報道回数/年	—
メディア報道広告効果/年	—
SNS・WEB 発信回数/年	—
SNS・WEB リーチ人数/年	—
来場者・購入者・申込者総数/年	—
地域への波及効果(額)	合計効果: 673,360 円 直接効果: 673,360 円 間接効果: 0 円
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷投資額+人件費)	ROI 0.09 673,360 円÷7,316,661 円(事業費 3,096,661 円+人件費 4,220,000 円)=0.09
特記事項	観光庁簡易測定モデルによる算出の場合、MICE 開催による経済波及効果: 284,000,000 円

6-2 その他事業(自主財源事業/補助金活用事業)

事業名称	ロケツーリズム関連情報発信業務 (4 月 1 日~3 月 31 日)
報告担当者	金澤 千裕
事業内容	福島市ロケツーリズム推進会議のホームページ、SNS(X、Instagram)の管理/運営/改修業務。ロケ地巡り記事作成業務。観光ノート連携。ロケ支援、制作会社間合せ対応、ロケ支援事業者/エキストラ登録業務
事業目的	ロケ後の経済波及効果を最大限に引き出し持続させ、市民観光誘客および移住定住を促す。
事業目標(KPI)	福島市(観光交流推進室)の事業目標に準ずる。
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	福島市ロケツーリズム推進会議 事務局 (福島市、当会、福島市商工会議所など)
売上/年	0 円
費用/年	114,996 円
売上総利益/年	0 円
公益事業補助金投入額/年	0 円
協会自主財源投入額/年	114,996 円
事務局員対応延べ人数/年	2 名/年(3,200,000 円)

協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 0円÷3,314,996円(事業費114,996円+人件費3,200,000円) =0
経済波及効果を受けた事業者数/年	28社/年
地域への波及効果内容	パラエティで取り上げられた店舗へは来訪者や問い合わせが急増した。一方で地方で放送されていないパラエティはTVerの見逃し配信がまだ一般に普及しておらず、波及効果は弱かった。
メディア報道回数/年	出川哲郎の充電させてもらえませんか(テレ東A)/そこに山があるから(BS朝日特B)/SonyCreators Camp/NHK World Japan/ONI(Netflix映画)/ワンコイン温泉はしご対決旅(テレ東特B)/相席食堂(朝日特B)/やりすぎ都市伝説(テレ東A)/NHK 定禅寺しゃべり亭(C)/プレバト(MBS 毎日放送A)/姪のメイ(テレ東B) 合計11件/年(当会で情報発信支援)
メディア報道広告効果/年	1,584,000,000円
SNS・WEB 発信回数/年	ホームページ:ロケツアーリズム 7件、観光ノート 14件 Xロケツアーリズム 21件、観光ノート 13件 Instagram:ロケツアーリズム 2件
SNS・WEB リーチ人数/年	ロケツアーリズム Instagram: リーチ数 471名 ロケツアーリズム X:インプレッション数 42,898名 観光ノート X: インプレッション数 54,005名
来場者・購入者・申込者総数/年	ロケ支援希望応募事業者:5社増/年 エキストラ希望応募者:78名増/年
地域への波及効果(額)	合計効果 1,584,000,000円 直接効果 0円 間接効果 1,584,000,000円
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷投資額+人件費)	ROI 477.82 1,584,000,000÷3,314,996円(事業費114,996円+人件費3,200,000円)=477.82
特記事項	映画はロケ後に公開されるまでの期間が長く、協力事業者たちの波及効果への期待感が薄れていく事を防ぐ必要がある。情報公開まで域内での丁寧な情報共有網を築くことが不可欠。

事業名称	「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」(～ふくしま FruitTourism～ 台湾向け至福のフルーツアフタヌーンティー体験開発・販売事業)(7月26日～2月29日)
報告担当者	高橋ちひろ
事業内容	福島市の特産で台湾でも人気の高い果物(桃・梨・ぶどう・りんご)をフックに、果物狩りとアフタヌーンティー及び温泉を連携させたコンテンツを開発し、台湾から誘客する。 ①特別な果物狩り&アフタヌーンティー体験メニュー開発 ②募集型企画旅行の開発・販売 ③販路基盤構築・プロモーション
事業目的	・インバウンド需要喚起による外貨獲得 ・市内事業者の販路・売上の拡大 ・市内農家の販路・売上の拡大
事業目標(KPI)	アフタヌーンティー&果物狩り体験メニュー開発10件
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市観光コンベンション協会 協力:福島交通観光、福島貸切辰巳屋自動車、花咲堂、遊日本、エスビージャパン
売上/年	547,180円
費用/年	12,920,636円

売上総利益／年	0 円
公益事業補助金投入額／年	6,985,560 円(観光庁補助金)
協会自主財源投入額／年	5,387,896 円
事務局員対応延べ人数／年	1 名(実働 63 人日) 20,000 円×63 日=1,260,000 円
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0.04 547,180 円÷13,633,456 円(6,985,560 円+5,387,896 円+1,260,000 円)=0.04
経済波及効果を受けた事業者数／年	参画事業者 8 社(飲食店 6 社、果樹園 2 社)
地域への波及効果内容	新たなフルーツアフタヌーンティーメニューの開発、新たなタクシープラン・バスプランの開発、販路開拓
メディア報道回数／年	福島民友 1 回／年
メディア報道広告効果／年	800,800 円
SNS・WEB 発信回数／年	・インフルエンサーによる Facebook 投稿 3 回×3 人 ・GDN 広告 (2023/9/1~11/30) ・ライオントラベル Facebook 投稿 5 回 ・ライオントラベル GDN 広告 2 回
SNS・WEB リーチ人数／年	・インフルエンサーによる Facebook 投稿 リーチ数 211,000 人 980clicks 効果額:441,600 円 ・GDN 広告 8,353,660imps 3,444clicks 効果額:16,776,200 円 ・ライオントラベル Facebook 投稿 リーチ数 110,540 人 効果額:221,080 円 ・ライオントラベル GDN 広告 2 回 6,724,982imps 66,403clicks 効果額:14,778,024 円
来場者・購入者・申込者総数／年	アフタヌーンティー利用者数 約 400 名
地域への波及効果(額)	合計 40,403,264 円 直接効果 7,385,560 円 (観光庁補助金 6,985,50 円+アフタヌーン消費額 400,000 円) 間接効果 33,017,704 円(広告宣伝効果)
地域への波及効果換算額に対する ROI (波及効果産出額÷投資額+人件費)	ROI 2.96 40,403,264 円÷13,633,456 円(6,985,560 円+5,387,896 円+1,260,000 円)= 2.96
特記事項	なし

事業名称	地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業/施設改修 (5 月 30 日~3 月 31 日)
報告担当者	高橋 康
事業内容	観光庁補助事業「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」を活用した市内温泉地及び周辺エリアの施設等改修支援
事業目的	コロナ終息後に地域間競争が激化している観光産業において、市内温泉地や周辺エリアが「面的」に魅力向上することで、お客様から選ばれる地域となるよう、観光庁補助事業を活用して高付加価値化改修等を行う。
事業目標(KPI)	目標 12 施設(令和 4 年度実績) 実績 15 施設 達成率 125%
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催:福島市観光コンベンション協会

	協力:福島市、飯坂温泉観光協会、土湯温泉観光協会、高湯温泉観光協会、福島市旅館ホテル協同組合
売上/年	0 円
費用/年	150,610 円(説明会会場費、通信費など)
売上総利益/年	0 円
公益事業補助金投入額/年	0 円
協会自主財源投入額/年	0 円
事務局員対応延べ人数/年	3 名:2,040,000 円(1,260,000 円+900,000 円+900,000 円)
協会収益ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 0 円÷2,190,600 円(事業費 150,610 円+人件費 2,04,000 円)=0
経済波及効果を受けた事業者数/年	15 業者 地区 飯坂地区 9、土湯地区 3、高湯地区 2、フルーツライン 1 (業種内訳 宿泊施設 11、飲食店 2、観光施設 2)
地域への波及効果内容	観光庁から事業者への補助額:519,402,999 円 補助率は 1/2 または 2/3 であり、参加した事業者は総工事費の半分以上の補助を活用して改修した。
メディア報道回数/年	—
メディア報道広告効果/年	—
SNS・WEB発信回数/年	—
SNS・WEBリーチ人数/年	—
来場者・購入者・申込者総数/年	—
地域への波及効果(額)	合計効果 711,100,499 円 直接効果 519,402,999 円(15 社に対する補助金総額) 間接効果 191,697,500 円 (事業者自己負担 383,395,001 円の 5 割が地域内消費と換算)
地域への波及効果換算額に対するROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	ROI 324.61 711,100,499 円÷2,190,600 円(事業費 150,610 円+人件費 2,04,000 円)=324.61
特記事項	・当事業は令和 5 年度から翌年にわたる 2 か年事業であり、上記には令和 5 年度分のみを計上 ・第 1 期で申請・採択されたため、工期が長期に及ぶ大規模改修を行ったが施設にも繁忙期を避けて作業していただくことができた。(県内で第1期採択は当会のみ)

事業名称	地域一体となった観光地・観光産業の再生高付加価値化事業/面的 DX 推進 (5 月 30 日～3 月 31 日)
報告担当者	三宅 晃司
事業内容	面的 DX 推進事業
事業目的	宿泊施設の生産性改善や CS 向上を目的として、PMS の導入促進を図るほか、宿泊施設や当協会が保有している観光関連データの可視化とフィードバックを行う
事業目標(KPI)	・データ連携施設数 20 施設(2 年目終了時点) ・データを用いた戦略立案スキルの取得
事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	観光庁「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」を活用して実施 ・実施主体:福島市観光コンベンション協会 ・委託事業者:株式会社 AreaLinc、紫彩
売上/年	0 円
費用/年	5,518,260 円

売上総利益／年	0 円
公益事業補助金投入額／年	2,500,000 円(観光庁補助金)
協会自主財源投入額／年	3,018,260 円
事務局員対応延べ人数／年	1 名/年 0 (当事業人件費は、業務委託として費用に含むため 0 とする)
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI 0 $0 \div 5,518,260 \text{ 円} = 0$
経済波及効果を受けた事業者数／年	データ連携意思ありの施設数: 21 施設 (うち、データ連携済施設数: 6 施設)
地域への波及効果内容	2 か年事業のため、今年度は PMS の理解や導入支援やデータ連携準備が中心だったが、次年度はダッシュボードやレポート、勉強会などでのデータフィードバックを行い、波及効果を高めていく予定。
メディア報道回数／年	－
メディア報道広告効果／年	－
SNS・WEB 発信回数／年	－
SNS・WEB リーチ人数／年	－
来場者・購入者・申込者総数／年	－
地域への波及効果(額)	
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷投資額+人件費)	※EBM の基盤となるデータを提供する点で、波及効果は認めらえるものの、現時点では数値化しづらいため、次年度にまとめて報告する。
特記事項	2 か年の補助事業のため、令和 7 年 3 月にまとめて報告する。

事業名称	観光地域づくり法人の体制強化事業 Google ビジネスプロフィール (12 月 1 日～3 月 31 日)
報告担当者	横葉 純一
事業内容	市内飲食店・宿泊施設向け GoogleBusinessProfile セミナー
事業目的	多数の観光客が旅ナカで使用する GoogleMap(ビジネスプロフィール)への対応施設が十分ではなく、マップ検索上で上手く自社 PR が行き届いていない、口コミや顧客評価に対してのフォローができていないケースが多く見受けられる。そこで、市内事業者(業種は観光面に重きを置きつつも、業種固定をせず広く)に対して、Google ビジネスプロフィールの導入促進から、活用手法について研修会を実施。
事業目標(KPI)	1 観光事業者向け分析結果活用セミナーの開催 「Google ビジネスプロフィール登録促進」 ■アウトプット 目標:セミナーの開催 3 回 実績:セミナーの開催 3 回 ■アウトカム GBP の登録数 ①当 DMO 会員 198 社中 目標 138 社(実施前 94 社) 実績 113 社(達成率 81%) ②市内宿泊施設 86 事業者 目標 60 社(実施前 48 社 実績:56 社(達成率 93%) ③市内飲食施設 68 事業者 目標 57 社(実施前 44 社 実績 51 社(達成率 89%)
事業協力体制	主催:福島市観光コンベンション協会

(主催・共催・協賛・後援)	協力:株式会社 mov
売上／年	0 円
費用／年	1,190,856 円
売上総利益／年	0 円
公益事業補助金投入額／年	1,045,553 円(観光庁補助金)
協会自主財源投入額／年	0 円 ※事業精算後、消費税は還付されるため実質協会自主財源の利用は無し
事務局員対応延べ人数／年	担当者:8人日×8時間 セミナー運営スタッフ:のべ4名×5時間 人件費合計 180,000 円
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	協会収益 ROI=0 0円÷(1,190,856 円+180,000 円)
経済波及効果を受けた事業者数／年	47社
地域への波及効果内容	・GoogleBusinessProfile 活用セミナーには、リアル・オンラインでの参加者は合計で、47 名の参加があり、GBP 活用の重要性や、すでに取り組んでいる事業者にとっては、活用方法や工夫について学ぶことができた。 ・また、DMO にとって、GBP に取り組む事業者数の増加、オーナー権限の共有によるプロモーション展開の重要性の理解が広まることで、面的なマーケティングが可能となることから、当 DMO スタッフの知識向上と事業者へアドバイスできるまでスキルを高めたいと考えていたため、スタッフにおいてもセミナー参加、外部人材との打合せ時でのレクチャーを受けるなど、自走ができるための準備をすることができた。 (本事業内でセミナー受講、レクチャーを受けたスタッフ数:10 名)
メディア報道回数／年	-
メディア報道広告効果／年	-
SNS・WEB 発信回数／年	-
SNS・WEB リーチ人数／年	-
来場者・購入者・申込者総数／年	-
地域への波及効果(額)	-
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷(投資額+人件費)	GoogleBusinessProfile=Google マップの口コミなどの対応のため、効果額の算定はしにくい。一方、マイナスになりかねない状況を未然に防ぎ、売上や来訪に向けて側面的に後押しする取組のため見えにくい効果ながら次年度以降も継続したい
特記事項	なし

事業名称	福島市地域資源を活用した観光コンテンツ創造支援事業(インバウンド向け日本伝統文化コンテンツ造成・整備事業)(9月20日～3月15日)
報告担当者	高橋ちひろ
事業内容	刀匠・藤安将平氏の「日本刀づくり体験」を中心とした旅行商品の造成。そのための英語通訳用語集、スクリプト作成、OTA(アクティビティジャパン)への商品掲載、モニターツアーの実施。
事業目的	集客の可能性の高いコンテンツ(藤安将平氏の日本刀づくり体験)を、整備・販売まで構築することで、福島市への訪問意欲の湧く観光コンテンツに磨き上げ、福島市のファンの造成とそのコンテンツを起点とした福島市内他の施設や観光事業者等への観光経済波及を狙う。
事業目標(KPI)	・2 商品の造成。 ・英語通訳用語集、スクリプト作成。 ・通訳研修。 ・OTA への商品掲載、販売開始。

事業協力体制 (主催・共催・協賛・後援)	主催: 当会 協力: 将平鍛刀場、福島交通観光、インターグループ、良文工房、まるに
売上/年	0 円
費用/年	1,624,761 円
売上総利益/年	0 円
公益事業補助金投入額/年	400,000 円(福島市補助金)
協会自主財源投入額/年	1,224,761 円
事務局員対応延べ人数/年	1 名(実動 17 人日) 20,000 円×17 日=340,000 円
協会収益 ROI 売上総利益÷(投資額+人件費)	ROI=0 0 円÷1,964,761 円(400,000 円+1,224,761 円+340,000 円) =0 円
経済波及効果を受けた事業者数/年	旅行商品提供者: 1 社、旅行代理店: 1 社
地域への波及効果内容	・新たなインバウンド商品の造成 ・受入体制の構築(通訳用スクリプトの作成、通訳育成)
メディア報道回数/年	福島民報、福島民友、日経新聞、福島テレビ、福島放送
メディア報道広告効果/年	9,840,000 円
SNS・WEB 発信回数/年	PRTIMES 1 回
SNS・WEB リーチ人数/年	PRTIMES 363PV
来場者・購入者・申込者総数/年	0 名
地域への波及効果(額)	合計 10,240,000 円 直接効果 400,000 円(福島市補助金) 間接効果 9,840,000 円
地域への波及効果換算額に対する ROI 波及効果産出額÷投資額+人件費)	ROI 5.21 10,240,000 円÷1,964,761 円(400,000 円+1,224,761 円+340,000 円)=5.21
特記事項	なし

補助金活用事業(ROI 対象外)

	実施月日	事業名	事業概要
1	10 月～2 月	観光地域づくり法人の体制強化事業 先進地視察	観光地域づくり法人(DMO)」の更なる体制の強化に関する経費の一部を国が補助することにより、インバウンドに対応した観光地域づくり法人の形成を促進し、全国各地で世界的な競争力を有する魅力ある観光地域づくりを促進する

7 メディア掲載実績

7-1 新聞掲載実績

<福島市観光案内所>		
掲載日	新聞名	タイトル
4.1(土)	福島民報	福島駅にモモの花展示 4 日まで県くだもの消費拡大委
5.16(火)	福島民友	21 日、マッサージ無料体験
5.23(火)	福島民報	マッサージ体験コーナーを設置 県立視覚支援学校
5.23(火)	福島民友	無料マッサージ好評
6.17(土)	日本経済新聞	増える外国人観光案内所(多国語コンシェルジュ)
6.29(木)	福島民報	おでかけポーチでうきうき街歩き
3.31(日)	福島民報	【こけし】花案内人記念缶バッジ 写真集購入の方に配布
<西口大型ビジョン>		
掲載日	新聞名	タイトル
5.16(火)	福島民報	千秋楽まで PV 福島駅西口
5.16(火)	福島民友	若元春に熱い声援 福島駅で PV
5.29(月)	福島民報	堂々の成績うれしい JR 福島駅西口 PV
5.29(月)	福島民友	福島駅前 PV で熱い声援
7.11(火)	福島民報	若元春を応援 千秋楽まで PV 福島駅西口駅前広場
7.11(火)	福島民友	PV「若元春強い」福島駅
7.24(月)	福島民報	多くの市民が若元春を応援 福島駅西口で PV
7.24(月)	福島民友	若元春に強い声援 福島駅で PV
9.12(火)	福島民報	福島駅西口で放映スタート 若元春の取組など
9.12(火)	福島民友	若元春にもエール 福島駅で PV
11.14(火)	福島民報	郷土力士に声援 福島駅西口で PV スタート
11.27(月)	福島民報	郷土力士に声援 福島駅西口で PV
11.27(月)	福島民友	「若元春がんばって」福島で PV
1.15(月)	福島民報	ファンが熱い声援 JR 福島駅西口駅前広場
1.15(月)	福島民友	「若元春頑張れ」福島駅前で PV
1.29(月)	福島民友	福島駅前から応援
3.11(月)	福島民報	白星に歓声 福島駅西口エールビジョン
<ふくしまバリアフリーツアーセンター>		
掲載日	新聞名	タイトル
6.6(火)	福島民友	障害のある宿泊客もてなしの心得 吉川屋、バリアフリー講座
6.19(月)	福島民報	心のバリアフリー講座
9.30(土)	中日新聞	心のバリアフリー認定セミナー バリアフリー情報観光施設が発信
10.11(水)	東京新聞	【山崎まゆみのバリアフリーで行こう】車いすで桃狩り

<UFO 研究所>		
掲載日	新聞名	タイトル
6.8(木)	福島民報	【こけし】UFO 研究所と「ムー」連携、ストラップ販売始まる
6.15(木)	福島民報	UFO 情報分析結果は？飯野の研究所 24 日に公表
6.19(月)	福島民友	UFO 調査分析公表 飯野の研究所、24 日報告会
6.21(水)	福島民報	【取材メモ】飯野町の UFO 事業 継続的な活性化策を
6.25(日)	福島民報	6 件「UFO の可能性、極めて高い」千貫森で撮影の動画など
6.25(日)	福島民友	「UFO の可能性」6 件 福島・飯野の研究所
9.20(水)	福島民報	【論説】UFO ふれあい館
11.9(木)	福島民報	11 日福島で「UFO」フェス宇宙人仮装参加者募集 トークやお笑いショー
11.12(日)	福島民報	宇宙人と交信…できたかな？飯野で UFO フェス仮装行列練り歩く
11.12(日)	福島民友	宇宙人、飯野に現る！？
11.14(火)	福島民報	「UFO の聖地」魅力発信 飯野でフェス研究家らトーク
<ふくしまビーチホリデイ>		
掲載日	新聞名	タイトル
7.11(火)	福島民友	モモ尽くしの創作会席 吉川屋、白和えや揚げ出し
7.14(金)	福島民報	観光客にモモ PR ピーチホリデイきょうスタート
7.20(木)	福島民報	県産モモ会席の限定プラン提供 福島・飯坂の吉川屋
7.26(水)	福島民友	新感覚モモ会席に驚き 吉川屋開発ステーキやぬか漬け
8.1(火)	福島民報	コース全品モモ使用の会席提供 飯坂の吉川屋
8.28(月)	福島民友	【奥の細道】剪定枝でペンダントづくりワークショップ
<ふくしまアップルホリデイ>		
掲載日	新聞名	タイトル
10.26(木)	福島民報	「夜の果樹園」輝く 飯坂きょうから「王国」PR
10.26(木)	福島民友	リンゴきらきら 幻想的にライトアップされた「夜の果樹園」
11.3(金)	福島民友	【奥の細道】福島市観光案内所りんごまみれの装飾でお出迎え
11.7(火)	福島民報	【こけし】「りんごストラップづくり」が人気
11.22(水)	福島民友	リンゴ農家お手伝い 福島人手不足解消へ農業体験
<協会事業>		
掲載日	新聞名	タイトル
4.14(金)	福島民報	土湯温泉の逸品 夕食メニューに
4.15(土)	福島民報	土湯の夕食メニュー好評
5.17(水)	日本農業新聞	規格外イチゴ配送支援 福島市の観光協会飲食店などへ安定販売
5.30(火)	朝日新聞	規格外イチゴ飲食店などへお届け 福島市観光コンベンション協会が支援
7.5(水)	福島民友	新会長に坪井氏選ぶ 福島市観光コンベンション協

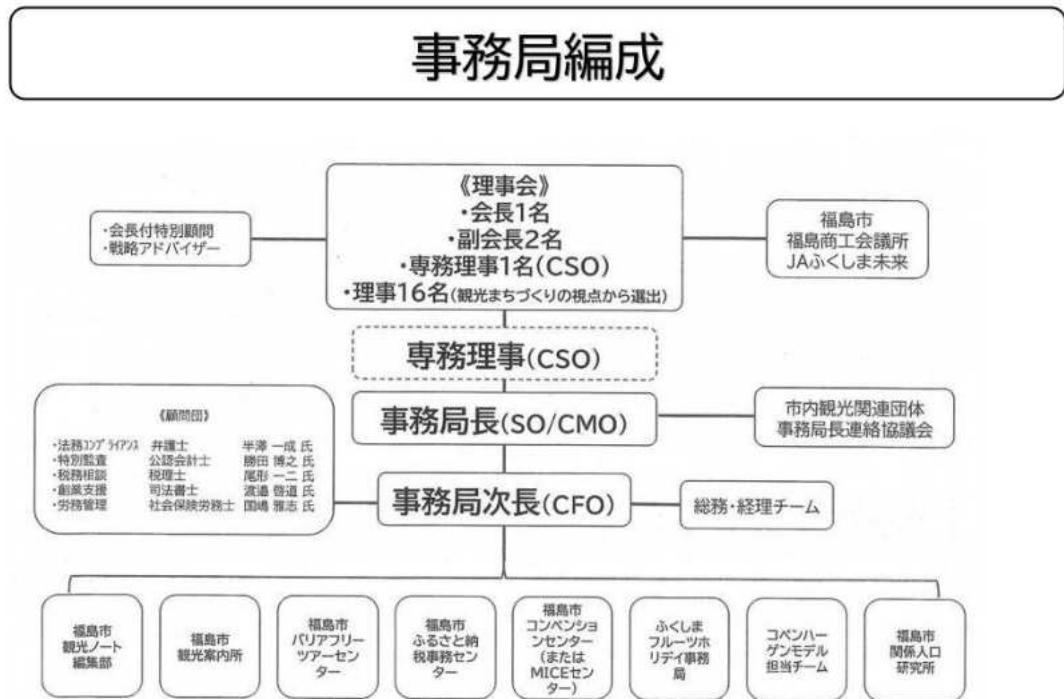
7.17(月)	福島民報	古関音頭で盆ダンス 夏の新たな名物に
8.6(日)	福島民友	古関裕而の生誕記念事業 11 日福島 駅前通りで盆ダンス
8.9(水)	福島民報	古関メロディーで盆踊り楽しもう
8.10(木)	福島民友	あす福島で「盆ダンス」
8.12(土)	福島民報	古関メロディーで楽しむ盆ダンス 福島駅前通り 市内外の団体 30 組出演
8.12(土)	福島民友	古関作品で盆ダンス 福島駅前通り
9.7(木)	福島民報	福島のピーチホリデイ効果検証研究 地域活性化の論文賞受賞
9.8(金)	読売新聞	タクシー車体に果物をデザイン 福島へ観光誘客
2.25(日)	福島民報	立子山で刀鍛冶体験を 福島市観光コンベンション協など訪日客向けツアー販売へ
2.26(月)	福島民友	外国人が刀鍛冶体験 福島誘客へモニターツアー
2.28(水)	日本経済新聞	刀鍛冶訪日客に手ほどき 福島市で体験ツアー
<その他>		
掲載日	新聞名	タイトル
10.22(日)	福島民友	福島市長が訪台 誘客へ PR
12.1(金)	福島民友	信夫山公園来年 150 周年 盛り上げへ福島一丸
12.9(土)	福島民友	県内 2 団体を採択 観光地付加価値化
12.22(金)	福島民報	イチゴ「ゆうやけベリー」販路拡大 PR チーム始動へ
12.26(火)	福島民友	ゆうやけベリー販路へ意見 福島市ブランド化プロジェクト
1.25(木)	福島民報	県内で初の全国都市清掃研究事例発表会 あすまで、福島など
1.25(木)	福島民友	廃棄物処理事業考える 福島 全国研究・事例発表会開幕
1.27(土)	福島民友	就労支援事業所の売れる商品 パティシエ、菓子監修
2.19(月)	福島民報	16 種類の新酒満喫 4 年ぶり一般参加福島でお披露目会
3.15(金)	福島民報	温泉使用料など値上げを 飯坂町保有施設等在り方検討会提言内容まとめる
3.16(土)	福島民友	料金見直しを提言 飯坂の温泉利用と公衆浴場 検討会、管理会に提出へ

7-2 テレビ等放送実績

<福島市観光案内所>		
放送日	メディア名	タイトル
5.16(火)	福島テレビ	温泉と発酵グルメ 新たな魅力がたくさん！土湯温泉でパワーチャージ(温泉チャート)
9.7(木)	テレビ東京	姪のメイ 第 1 話(方言辞典)
1.17(水)	テレビ東京	ワンコイン温泉はしご対決 in 福島
<ふくしまバリアフリーツアーセンター>		
放送日	メディア名	タイトル
10.25(水)	テレビユー福島	誰もが使いやすい「ユニバーサルデザイン」普及を
11.28(火)	NHK 福島	高齢化社会の公共交通機関を考える意見交換会

11.29(水)	福島放送	超高齢社会における地域公共交通を考える会
12.3(日)	テレビユー福島	免許の返納者が増加傾向もバス、タクシーは運転手減少
2.29(木)	福島テレビ	高齢者の移動手段の確保と新たな仕組みづくり
<ふるさと納税>		
放送日	メディア名	タイトル
8.16(水)	福島テレビ	返礼品は「御守刀」
1.18(木)	福島中央テレビ	福島市が氷見市と金沢市へのふるさと納税寄付を代理受付
<ふくしまピーチホリデー>		
放送日	メディア名	タイトル
7.18(火)	福島中央テレビ	福島の桃を 100 倍楽しむ方法
7.24(月)	福島中央テレビ	「福島市で桃まみれな一日を！」この夏のピーチホリデーは
8.2(水)	NHK 福島	捨てる部分も有効活用 桃をまるごと「ふくしまピーチホリデー」
8.10(木)	福島中央テレビ	思う存分に桃を ふくしまピーチホリデー
8.19(土)	福島テレビ	ふくしまの桃をさらに美味しく！新たな味に出会える「ピーチホリデー」
<ふくしまアップルホリデー>		
放送日	メディア名	タイトル
10.26(木)	テレビユー福島	キラキラ輝く幻想的な空間…夜のリンゴ畑をライトアップ
10.26(木)	福島テレビ	福島の夜の新たな観光名所に 夜の果樹園が開園
11.1(水)	福島中央テレビ	この冬はアップルホリデーでリンゴまみれに！
11.15(水)	福島テレビ	福島のリンゴはこんなにおいしい！「アップルホリデー 2023」スタート
12.7(木)	テレビユー福島	りんごにまみれる 3 ヶ月間！りんごスイーツが味わえるお店 3 選
<その他事業>		
放送日	メディア名	タイトル
1.24(水)	福島中央テレビ	福島市の若手パティシエと障がいのある人たちが贈る「新たなスイーツ」
2.25(日)	福島テレビ	これが日本のワザ！訪日外国人客が刀鍛冶体験 インバウンド向けツアー販売へ
2.29(木)	福島放送	モニターツアーで外国人が意外な？伝統工芸品づくり
2.25(日)	福島テレビ	これが日本のワザ！訪日外国人客が刀鍛冶体験 インバウンド向けツアー販売へ
2.29(木)	福島放送	モニターツアーで外国人が意外な？伝統工芸品づくり

8 事務局組織図



9 会議(主体的に開催した会議)

当会事業を円滑に実施するために開催した会議

名称	時期	場所	内容
第1回最高経営会議 (ボード会議)	5月8日	福島テルサ	インバウンド情報発信について 理事改選についてなど
第2回最高経営会議 (ボード会議)	6月6日	福島テルサ	第1回理事会提出議案について 令和5年度通常総会の開催についてなど
第1回理事会	6月21日	福島テルサ	令和5年度通常総会の開催についてなど
通常総会	6月28日	エルティ ウェディ ング・パーティ エ ンポリアム	令和4年度事業報告、令和5年度事業計画につ いてなど
第3回最高経営会議 (ボード会議)	8月18日	福島テルサ	第2回理事会提出議案について 福島市MICE戦略の策定についてなど
第2回理事会	8月29日	福島テルサ	風評被害による嫌がらせ電話等の問題につ いて、ビーチホリデイの進捗状況についてなど

第4回最高経営会議 (ボード会議)	10月16日	福島テルサ	福島市 MICE 戦略の策定について JNTO 賛助会員への加入についてなど
第5回最高経営会議 (ボード会議)	12月19日	福島テルサ	第3回理事会提出議案について インバウンドへの取り組みについてなど
第3回理事会	12月26日	福島テルサ	令和6年度事業概要について 新規入会審査についてなど
第6回最高経営会議 (ボード会議)	3月19日	福島テルサ	第4回理事会提出議案について 次年度事業計画及び事務局体制についてなど
第4回理事会	3月27日	福島テルサ	次年度事業計画及び事務局体制について 理事補充(案)について

10 名義後援等

本市の観光振興に寄与すると認められる事業

	事業名称	開催日	場所	主催者
1	ピアフェスふくしま 2023	6/3～6/4	まちなか広場	ピアフェスふくしま実行委員会
2	ウォークラリー福島大会 2023	5/28	福島市中心市街地	特定非営利活動法人福島市レクリエーション協会
3	エレキコミック第33回発表会 「鮎」	7/21～7/23	下北沢・本多劇場	株式会社トゥインクル・コーポレーション
4	2023 ふくしま花ウォーク	4/8	福島市内	実湧満彩ふくしま路ウォーキング運営委員会
5	第25回ふくしま吾妻荒川 花見山ツデーマーチ	4/8～4/9	福島市内	実湧満彩ふくしま路ウォーキング運営委員会
6	第12回小学生ポスター展	9/14～9/18	とうほう・みんなの文化センター	特定非営利活動法人子ども未来クラブ
7	第34回ほろ酔いウォーク 2023	7/14～7/15	飯坂温泉	ほろ酔いウォーク実行委員会
8	福島夏まつり ふくしま花火大会・福島わらじまつり	花火大会： 7/29 わらじまつり：8/4～8/6	福島市内	福島夏まつり委員会
9	ふくしまシルクロードツアー	7/15～7/16 9/2～9/3	福島市、二本松市、川俣町	福島市フルーツラインエリア観光推進協議会
10	ピアフェスふくしま 2023	8/11～13	まちなか広場	ピアフェスふくしま実行委員会
11	第12回あづま Teshi-got 市場	10/21～10/22	あづま総合運動公園	あづま Teshi-got 市場実行委員会
12	ふくしまシルクロードツアー ～学生合宿編～	9/6～9/8 9/10～9/12	福島市、二本松市、川俣町	福島市フルーツラインエリア観光推進協議会
13	公益社団法人福島青年会議所 60周年記念事業 福島くいだおれ音楽祭 飲んで食べて楽しもう！～60周年日頃の感謝を込めて～	9/18	福島駅前通り	公益社団法人福島青年会議所
14	ふくしまシルクロードツアー ～プライベートな織物教室編～	10/4～10/6 10/20～10/22 10/10～10/16	福島市内	福島市フルーツラインエリア観光推進協議会

15	ももりんリサーチツアー ～サイクリング&カヤックで巡る 茂庭地区～	10/15	福島市内	福島市フルーツラインエリア 観光推進協議会
16	ふくしま絹の道フェスタ in 飯坂 温泉	11/17～19	飯坂温泉	福島市フルーツラインエリア 観光推進協議会
17	つながるフェスタ	11/3～4	道の駅ふくしま	福島県県北地方振興局
18	フラワーデザインローズ第2回 合同作品展	12/16～12/17	コラッセふくしま	フラワーローズ
19	ふくしまシティハーフマラソン 実行委員会	2024/5/19	福島市内	ふくしまシティハーフマラソン 実行委員会
20	第21回 飯坂温泉太鼓まつり	3/10	パルセいいざか	飯坂温泉太鼓まつり実行委員 会
21	ふくしま発酵マルシェ	1/27～1/28	土湯温泉観光交流 センター	福島県知事
22	2024 ふくしま花ウォーク 第26回ふくしま吾妻荒川ツーデ ーマーチ	2024/4/6～4/7	まちなか広場 (スタートゴール)	実湧満彩ふくしま路ウォーキ ング運営委員会
23	うさぎふくふく祭り in ふくしま 2024	2024/4/14	アオウゼ	うさぎふくふく祭り in ふく しま実行委員会事務局
24	第24回しのぶの里フォトコンテ スト	～2024/6/30		福島市写真美術館（公益財団 法人福島市観光振興公社）
25	飯坂温泉ミュージックフェステ ィバル「おと酔いウォーク 2024」	2024/4/13	飯坂温泉街	おと酔いウォーク実行委員会
26	第20回クマガイソウの里まつり	2024/5/3～ 5/19	クマガイソウ群生 地	水原の自然を守る会
27	ピアフェスふくしま 2024	2024/6/7～6/9	街なか広場	ピアフェスふくしま実行委員 会
28	ふくしまラーメンワールド 2024	2024/5/1～5/6	福島トヨタクラウ ンアリーナ	ふくしまラーメンワールド実 行委員会

議案第2号

令和5年度 収支決算について

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

令和5年度 一般社団法人福島市観光コンベンション協会 収支決算書
【令和5年4月1日～令和6年3月31日】

(収入の部)

科目	予算額 (a)	決算額 (b)	増減 (b)-(a)	備考
I 事業活動収入				
1 受取会費	3,000,000	3,455,000	455,000	
(1) 会員会費収入	3,000,000	3,455,000	455,000	
2 事業収入	98,000,000	130,003,088	32,003,088	
(1) 受託事業収入①	0	16,579,985	16,579,985	
(a) 令和5年花見山観光客対応業務委託	0	8,081,700	8,081,700	
(b) 福島駅前軽トラ市情報発信事業業務委託	0	1,864,060	1,864,060	
(c) 福島市バリアフリーマップ更新業務委託	0	1,499,999	1,499,999	
(d) ふくしまの特産品魅力発信等魅力拡散キャンペーン業務委託	0	2,469,500	2,469,500	
(e) インパウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業	0	2,530,000	2,530,000	
(f) 阪急交通社通販事業	0	134,726	134,726	
(2) 受託事業収入②	96,000,000	107,122,528	11,122,528	
(a) ふるさと納税運営業務	96,000,000	107,122,528	11,122,528	寄附額の約6.4%+雑収入
(3) 販売事業収入	2,000,000	6,300,575	4,300,575	
(a) 案内所物販収入	1,400,000	1,699,396	299,396	ももりんグッズ、特産品
(b) 案内所幹旋等収入	300,000	383,584	83,584	宿泊、タクシー、旅行
(c) 案内所バリアフリー運営収入	100,000	128,040	28,040	車いす貸出、常設物販
(d) 案内所その他収益収入	200,000	775,113	575,113	ももりん着ぐるみ貸出、キャラクター利用料、受託業務、コピー代等
(e) 規格外果物の飲食店連係に関わる果物付	0	2,767,262	2,767,262	規格外品循環スキームによる売り上げ
(f) 台湾向けアフタヌーンティ事業関連収入	0	547,180	547,180	
3 受取補助金等	84,773,000	92,566,295	7,793,295	
(1) 市補助金	84,773,000	81,808,000	△ 2,965,000	
(a) 福島市組織運営補助金(観光)	75,806,000	72,441,000	△ 3,365,000	
(b) 福島市組織運営補助金(MICE)	8,967,000	8,967,000	0	
(c) 福島市観光コンテンツ創造支援事業補助	0	400,000	400,000	刀鍛冶体験コンテンツ造成
(2) 国・県 他 補助金	0	10,758,295	10,758,295	
(a) インパウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業	0	6,985,560	6,985,560	国(観光庁)
(b) 観光地域づくり法人の体制強化事業/外部人材	0	1,045,553	1,045,553	国(観光庁)
(c) 観光地域づくり法人の体制強化事業/中核人材育成	0	227,182	227,182	国(観光庁)
(d) 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業	0	2,500,000	2,500,000	国(観光庁)
4 受取寄附金等	0	0	0	
(1) 受取寄附金	0	0	0	
5 雑収入	0	641,903	641,903	
(1) 雑収入	0	641,903	641,903	
(a) 受取利息収入	0	1,650	1,650	
(b) 雑収入	0	640,253	640,253	
事業活動収入計	185,773,000	226,666,286	40,893,286	
II 投資活動収入				
1 投資活動収入	0	13,200	13,200	
(1) 敷金・保証金戻り収入	0	13,200	13,200	
投資活動収入計	0	13,200	13,200	
当期収入計	185,773,000	226,679,486	40,906,486	
前期繰越収支差額	24,264,492	24,264,492	0	
収入合計(A)	210,037,492	250,943,978	40,906,486	

参考 (その他収入/ふるさと納税返礼品代金)

	予算額 (a)	決算額 (b)	増減 (a) - (b)	
1 ふるさと納税返礼品代金関連収入	0	664,384,038	664,384,038	
(1) 当期ふるさと納税返礼品代金収入		419,113,200	419,113,200	寄附額の約30%
(2) ふるさと納税 R6年度発送分費用繰越		245,270,838	245,270,838	R5年度未発送分
ふるさと納税返礼品関連収入合計	0	664,384,038	664,384,038	

(支出の部)

科目	予算額 (a)	決算額 (b)	増減 (b)-(a)	備考
I 事業活動支出				
1 事業費支出				
(1) 受託事業運営支出①	0	11,316,569	11,316,569	
① 令和5年花見山観光客対応業務委託	0	7,074,829	7,074,829	
② 福島駅前軽トラ市情報発信事業業務委託	0	1,506,434	1,506,434	
③ 福島市バリアフリーマップ更新業務委託	0	647,189	647,189	
④ ふくしまの特産品魅力発信等魅力拡散キャンペーン業務委託	0	2,086,137	2,086,137	
⑤ インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業	0	0	0	
⑥ 阪急交通社通販事業	0	1,980	1,980	
(2) 受託事業支出②	42,297,000	46,352,900	4,055,900	
① ふるさと納税運営業務	42,297,000	46,352,900	4,055,900	人件費は管理費へ計上
(3) 販売事業支出	1,000,000	1,635,881	635,881	
(4) 地域貢献活動事業支出-「外貨獲得」	7,334,000	27,830,140	20,496,140	
① ビーチホリデイをフックとした誘客促進	0	8,785,025	8,785,025	ビーチホリデイ・アップルホリデイ
② ポストコロナの訪日需要拡大を見据えた誘客促進	1,864,000	1,357,397	△ 506,603	台湾・タイプロモーション
③ 体験商品づくり・販売促進	1,000,000	0	△ 1,000,000	
④ 来訪者が循環する仕組み作り	1,470,000	1,630,200	160,200	
⑤ デジタル時代の効果的な誘客を支えるデータ収集・解析・分析	3,000,000	1,518,421	△ 1,481,579	ありがとうキャンペーン
⑥ インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業	0	12,914,336	12,914,336	観光庁補助事業
⑦ 観光コンテンツ創造支援事業		1,624,761	1,624,761	市補助事業
(5) 地域貢献活動事業支出-「内発循環」	5,000,000	6,682,204	1,682,204	
① ふるさと納税15億円プロジェクト	2,900,000	0	△ 2,900,000	
② 果実規格外品供給仕組みづくり	2,100,000	1,163,944	△ 936,056	
③ 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業	0	5,518,260	5,518,260	観光庁補助事業
(6) 地域貢献活動事業支出-「関係人口拡大」	1,422,000	2,516,422	1,094,422	
① バリアフリーツーリズム	922,000	853,912	△ 68,088	
② 関係人口拡大支援	0	0	0	
③ 域内外の組織や個人との連携支援	500,000	89,058	△ 410,942	
④ 共創の仕組みづくり	0	0	0	
⑤ ロケツーリズム	0	114,996	114,996	
⑥ 観光地域づくり法人の体制強化事業/外部人材	0	1,191,486	1,191,486	観光庁補助事業
⑦ 観光地域づくり法人の体制強化事業/中核人材育成	0	266,970	266,970	観光庁補助事業
(7) 地域貢献活動事業支出-「認知・理解・共感獲得」	20,725,056	15,672,668	△ 5,052,388	
① マーケティングに基づく関係人口の拡大		0	0	
・WEBサイトの機能強化(観光ノート)	5,000,000	5,718,239	718,239	
・SNS活用の強化	600,000	0	△ 600,000	
・交流拠点(案内所)の機能強化	3,330,000	3,622,389	292,389	コンシェルジュ
・SNSの分析調査	600,000	666,050	66,050	ソーシャルインサイト
・ふるさと納税を介した誘客促進強化	1,000,000	0	△ 1,000,000	
・首都圏関西リアルプロモーション活動	4,985,056	0	△ 4,985,056	活動費はビーチホリデイ事業へ
・有料デジタル広告/既存広告の告知展開	1,500,000	0	△ 1,500,000	活動費はビーチホリデイ事業へ
・誘客促進を目的とした勉強会	110,000	0	△ 110,000	
・誘客促進管理	500,000	0	△ 500,000	
・福島駅ウェルカム演出	100,000	44,000	△ 56,000	発車メロディ
・福島市ガイドブック制作	3,000,000	5,621,990	2,621,990	
(8) MICE誘致活動	3,000,000	3,096,661	96,661	
① 情報の整備(情報収集・分析)	300,000	404,697	104,697	データ管理ツール使用料
② 情報発信ツールの整備	1,000,000	1,294,809	294,809	HP制作等
③ MICE商談会・展示会への積極参加とキーマンへのアプローチ	1,200,000	1,347,155	147,155	出展費用、旅費等
④ 国際組織との連携	150,000	0	△ 150,000	
⑤ ユニークバニュー開発	350,000	50,000	△ 300,000	
事業費支出合計	80,778,056	115,103,445	34,325,389	

(支出の部)

科目	予算額 (a)	決算額 (b)	増減 (b)-(a)	備考
I 事業活動支出				
2 管理費支出				
(1) 管理費支出①-事務局	96,351,907	95,630,210	△ 721,697	
① 給与手当	77,316,907	56,233,741	△ 21,083,166	委託スタッフ3名分を諸謝金/委託費へ計上
② 退職給付金支出	1,560,000	1,633,000	73,000	
③ 福利厚生費	0	180,654	180,654	
④ 法定福利費		8,585,232	8,585,232	
⑤ 会議費	400,000	391,603	△ 8,397	
⑥ 旅費交通費	456,000	706,039	250,039	
⑦ 渉外費	50,000	284,885	234,885	
⑧ 広告宣伝費	0	491,250	491,250	
⑨ 通信運搬費	1,350,000	1,006,181	△ 343,819	
⑩ 消耗品費	1,400,000	1,565,662	165,662	
⑪ 新聞図書費	20,000	102,022	82,022	
⑫ 修繕費	119,000	103,023	△ 15,977	
⑬ 印刷製本費	140,000	330,000	190,000	
⑭ 燃料費	100,000	106,559	6,559	
⑮ 光熱水料費	600,000	367,330	△ 232,670	
⑯ 賃借料	2,000,000	1,331,275	△ 668,725	
⑰ 地代家賃	2,500,000	2,591,600	91,600	
⑱ 火災保険料	640,000	561,150	△ 78,850	
⑲ 諸謝金費	1,700,000	10,074,000	8,374,000	委託スタッフ2名分追加
⑳ 租税公課	1,800,000	2,459,900	659,900	
㉑ 負担金	2,500,000	1,319,004	△ 1,180,996	
㉒ 支払手数料	1,700,000	1,355,400	△ 344,600	
㉓ 委託費	0	3,000,000	3,000,000	委託スタッフ1名分
㉔ 寄付金	0	10,000	10,000	
㉕ 支払利息	0	0	0	
㉖ 雑支出	0	840,700	840,700	
(2) 管理費支出②-案内所	8,990,000	9,542,821	552,821	
① 福利厚生費	0	3,400	3,400	
② 広告宣伝費	0	159,500	159,500	案内所看板ボード
③ 旅費交通費	0	5,560	5,560	
④ 通信運搬費	450,000	493,485	43,485	
⑤ 消耗品費	400,000	879,781	479,781	案内所装飾など
⑥ 新聞図書費	90,000	92,760	2,760	
⑦ 修繕費	250,000	333,299	83,299	
⑧ 光熱水料費	1,000,000	763,848	△ 236,152	
⑨ 賃借料	700,000	704,888	4,888	
⑩ 地代家賃	5,800,000	5,662,800	△ 137,200	
⑪ 委託費	0	135,000	135,000	
⑫ 支払手数料	300,000	305,300	5,300	
⑬ 雑支出	0	3,200	3,200	
(3) 法人税、住民税など	100,000	10,430,400	10,330,400	
① 法人税、住民税など	100,000	10,430,400	10,330,400	
管理費支出合計	105,441,907	115,603,431	10,161,524	
事業活動支出合計	186,219,963	230,706,876	44,486,913	
事業活動 当期収支差額	△ 446,963	△ 4,040,590	△ 3,593,627	
II 投資活動支出				
1 投資活動支出	0	987,049	987,049	
(1) その他の固定資産購入支出	0	987,049	987,049	
投資活動支出計	0	987,049	987,049	
III 予備費支出				
1 予備費支出	0	0	0	
支出合計(B)	186,219,963	231,693,925	45,473,962	
次期繰越収支差額(A)-(B)	23,817,529	19,250,053	△ 4,567,476	

(収入の部)

科目	予算額 (a)	決算額 (b)	増減 (b) - (a)	備考
I 事業活動収入				
1 ふるさと納税運営業務	546,000,000	512,458,594	△ 33,541,406	
(1) 事務運営業務 受託事業収入	96,000,000	93,345,394	△ 2,654,606	寄附額の約6.4%+雑収入
(2) 返礼品代金	450,000,000	419,113,200	△ 30,886,800	
2 雑収入	1,163	1,119	△ 44	
(1) 受取利息	1,163	1,119	△ 44	
事業活動収入計	546,001,163	512,459,713	△ 33,541,450	
3 繰越金	245,270,838	245,270,838	0	
(1) 前年度寄附R5年度発送分返礼品代金	176,450,896	176,450,896	0	
(2) 前年度寄附R5年度発送分返礼品発送代金	50,143,742	50,143,742	0	
(3) ふるさとチョイスポイント未使用分	18,676,200	18,676,200	0	
当期収入合計(A)	791,272,001	757,730,551	△ 33,541,450	

(支出の部)

科目	予算額 (a)	決算額 (b)	増減 (b) - (a)	備考
II 事業活動支出				
1 事業費支出				
(1) 返礼品関連支出	563,070,437	671,263,859	108,193,422	
① 返礼品代金(発送済)	254,525,564	286,471,433	31,945,869	
② 返礼品代金(発送予定)	176,450,896	224,028,576	47,577,680	R6年度に繰越
③ 配送料(支出済)	63,274,035	72,886,924	9,612,889	
④ 配送料(支出予定)	50,143,742	71,717,426	21,573,684	R6年度に繰越
⑤ チョイスポイント未使用分	18,676,200	16,159,500	△ 2,516,700	R6年度に繰越
事業費支出合計	563,070,437	671,263,859	108,193,422	
2 管理費支出				
(1) 管理費支出	45,020,300	45,371,709	351,409	
① 職員人件費	17,000,000	17,463,641	463,641	
② 法定福利費	900,000	905,327	5,327	
③ 退職金	0	0	0	
④ 旅費交通費	20,000	2,000	△ 18,000	
⑤ 広告宣伝費	100,000	99,000	△ 1,000	
⑥ 通信運搬費	6,000,000	6,042,891	42,891	
⑦ 消耗品費	1,200,000	1,180,747	△ 19,253	
⑧ 修繕費	150,000	173,140	23,140	
⑨ 印刷製本費	500,000	402,600	△ 97,400	
⑩ 賃借料	1,500,000	1,514,040	14,040	
⑪ 諸謝金	1,000,000	932,240	△ 67,760	
⑫ 租税公課	5,000,000	4,894,502	△ 105,498	
⑬ 委託費	3,050,300	2,885,300	△ 165,000	
⑭ 支払手数料	8,000,000	8,382,211	382,211	
⑮ 雑費	100,000	0	△ 100,000	
⑯ 法人税	0	0	0	全体管理費へ
⑰ 他固定資産	500,000	494,070	△ 5,930	
	0	0	0	
管理費支出合計	45,020,300	45,371,709	351,409	
当期支出合計(B)	608,090,737	716,635,568	108,544,831	
次期繰越収支差額(A)-(B)	183,181,264	41,094,983	△ 142,086,281	

令和5年度 福島市観光コンベンション協会 決算書解説

1. 決算書作成に関する基本的な考え方

- ・事業項目ごとの収支をわかりやすく、かつより正確に表示するため、今年度から収支決算書の書式を一部変更しています。
- ・受注して4年目となる「ふるさと納税事業」は、引き続き事業全体の拡大が見込まれています。他事業に比べ事業費が大きいこともあり、全体収支とは別に単体でも計上しています。なお、ふるさと納税単体の収支決算書については、本事業単体の収支を図るため従事した専門職員の人件費なども計上しているため、全体の収支決算書と計上が重複している項目もあります。

2. 収入の部について

2.1 受取会費について

予算額を455千円上回る3,455千円となりましたが、金額は前年度とほぼ同じです。

2.2 事業収入について

①受託事業収入（ふるさと納税以外）

福島市（観光交流推進室、農業振興課、共生社会推進課、政策調整課）からの受託事業4件と市内事業者の観光庁事業運営へのサポート受託事業等で合計6件、事業総額16,579千円となりました。コロナ禍による事業者支援や降電被害対策事業等が減少したため前年度に比べ件数は2件減少しましたが件数や金額は、ほぼ例年通りです。

②受託事業収入（ふるさと納税）

福島市への寄付額が過去最高を記録したこともあり、事業収入（受取手数料）も増加して107,122千円となりました。

実際の事業受託手数料は、93,345千円ですが、未使用のポイント類の繰越などの都合上、収入額が増えた形で記載されています。

③販売事業収入

コロナ禍が落ち着き旅行需要の回復とともに、案内所への来訪者も増加したことから、ももりんグッズをはじめ市内事業者商品の販売の進捗が見られ、予算を超える結果となりました。

また、「ふくしまピーチホリデイ/アップルホリデイ事業」を通して、事業者に購入いただいた果物代金やイベント出展に伴う果物販売の売上、観光庁補助事業「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成事業」による旅行販売売上が発生したことで、予算額を4,300千円上回る6,300千円となりました。

3. 受取補助金について

3.1 ①市補助金について 3,365

福島市組織運営補助金（観光）は、前年度84,000千円から72,441千円（△11,559千円）となり、新たに福島市組織運営補助金（MICE）が8,967千円が計上されました。市からの運営補助金は総額81,408千円（△3,365千円）となりました。

②国・県・他補助金について

インバウンド対応支援やDMO体制強化、面的DX化に関連する観光庁補助事業が4件採択されたことで補助金の総額は10,758千円。これら補助事業4件の総事業支出が19,891千円とであること

から、国の補助事業の採択を得られたことで、約2倍の規模で事業展開を実施できました。

4. 受取寄付金等について

計画通りです。

5. 雑収入について

ももりん着ぐるみや他団体への職員講師派遣等により、641千円となりました。

6. 投資活動収入について

駐車場代敷金の戻り収入あり13千円となりました。

7. 繰越金について

ほぼ計画通りです。

8. その他収入/ふるさと納税返礼品代金

福島市への「ふるさと納税寄付金」で返礼品代やその送料に充当する金額です。手続き上、一旦当会へ入金されますが、その金額は実費精算されます。

3. 支出の部について

3.1 事業費支出について

①受託事業運営支出（ふるさと納税以外）

受託事業6件分で11,332千円となりました。例年、年度当初では受託事業（ふるさと納税以外）の有無が予想できないため、予算額は0千円と計上しております。

受託事業①の6件での収支は、プラス5,263千円となりました。

②受託事業運営支出（ふるさと納税）

ふるさと納税寄付額の増加に伴い業務量が増加したことから、予算額を6,555千円上回り48,852千円となりました。ふるさと納税業務単体での純粋な利益は41,000千円となり、これらを自主事業活動資金として地域への再投資を図っています。

③販売事業収入

予算額を635千円上回り1,635千円となりました。コロナ禍がおちついて以降、案内所への来訪者も増えて売上額が増えたことから、仕入額も増加したためです。

④地域貢献活動事業支出「外貨獲得」

「デジタル時代の効果的な誘客を支えるデータ収集事業（ありがとうキャンペーン）」では、1,481千円経費節減したものの、年度当初では予算額を0千円としていた「ふくしまピーチホリデイ/アップルホリデイ」の事業展開や観光庁補助「インバウンドの地域誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」の採択であらたな事業が発生したこともあり27,830千円となりました。

⑤地域貢献活動事業支出「内発循環」

ふるさと納税関連事業で発生した事業費は、ふるさと納税収支に振り分けました。

また、観光庁補助「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業/面的DX」が採択されたことから事業の見直しを行い、予算額を1,682千円上回る6,682千円となりました。

⑥地域貢献活動事業支出「関係人口拡大」

観光庁「観光地域づくり法人の体制強化事業/外部人材」や「同事業/中核人材育成」が採択されたことで展開する事業の見直しを行ったことから、予算額1,094千円上回り、2,516千円となっておりますが、実質、消費税以外ほぼ全額補助事業となっております。

⑦地域貢献活動事業支出「認知・理解・共感獲得」

観光庁や福島市の補助事業が 5 件採択されたことで実施事業の見直しを行い、今年度は首都圏関西リアルプロモーション活動については、大規模イベントへの出展等の実施は見送り、ピーチホリデイに紐づくリアル出展等を実施したため、ピーチホリデイ予算へ組み込んでの計上をしています。また、前年度の繰越金を活用して、観光ノートの改修やガイドブックの増刷等を図りました。その結果、予算額を 15,672 千円（予算比△5,039 千円）となりました。

⑧MICE 誘致活動

ほぼ予算通りです。

3.2 管理費支出について

(1) 事務局

- ①給与手当 これまで委託スタッフの費用も人件費計上をしていましたが、今回より諸謝金、委託費と契約の実情に合わせて計上することとしました。そのため、ふるさと納税担当職員を含めた全体では予算額を 21,083 千円下回りましたが、法定福利費を含めた人件費全体では、ほぼ予算通りとなります。
- ②退職金給付支出 ほぼ予算通りとなります。
- ③福利厚生費・法定福利費 ※①給与手当に記載の通り
- ④会議費 ほぼ予算通りです。
- ⑤旅費交通費 コロナ禍が落ち着いてきたことで出張が増えたため、予算額を 250 千円上回る 706 千円となりました。
- ⑥渉外費 慶弔規程に基づいて対処したところ、予算額を 234 千円上回る 284 千円となりました。
- ⑦広告宣伝費 主に地方紙に対する協賛活動の一環です。予算額は 0 千円でしたが、福島市観光に重要なイベントが続いたこともあり 491 千円となりました。なお、前年度とほぼ同額です。
- ⑧通信運搬費 予算額を 343 千円下回り 1,006 千円となりましたが、案内所との負担分を見直したためです。事務局と案内所を合算した金額は、ほぼ予算通りです。
- ⑨消耗品費 ほぼ予算通りです。
- ⑩新聞図書費 情報収集のため観光経済新聞、日経 MJ の定期購読を始めたことで予算額を 82 千円上回り 102 千円となりました。
- ⑪修繕費 ほぼ予算通りです。
- ⑫印刷製本費 総会関連書類の印刷を外注したことで、予算額を 190 千円上回り 330 千円となりました。
- ⑬光熱水料費 前年度まではコロナ対策による冬季の空調換気等による暖房費がかさんでいましたが、それら対応も落ち着いたことから予算額を 232 千円下回る 367 千円となりました。
- ⑭賃借料 事務局を開設してから 5 年が経過しましたが、リース機器の一部が契約期間を終了して再リースとなったことや、設備の見直しを行ったことで予算額を 668 千円下回り 1,331 千円となりました。
- ⑮地代家賃 ほぼ予算通りです。
- ⑯火災保険料 ほぼ予算通りです。
- ⑰諸謝金費 予算額を 8,374 千円上回り 10,074 千円となりましたが、給与手当より業務委託費 2 名分を移動させたこと、また先進的DMOを目指す当会運営に対する様々な助言をいただくために新たにアドバイザー（当会前事務局長）と契約したことによ

	るものです。
⑱租税公課	今年度事業により予算額を 659 千円上回り 2,459 千円となりました。
⑲負担金	予算額を 1,180 千円下回りましたが、ほぼ例年通りの金額です。
⑳委託金	給与手当より業務委託費として1名分を移動したため、3,000千円となりました。
㉑支払手数料	一部、ふるさと納税関連の経費を事業費に振り分けたため、予算額を 344 千円下回り 1,355 千円となりました。
㉒寄付金	福島商工会議所を通して能登半島地震の義援金 10 千円寄付しました。
㉓支払利息	計画通りです。
㉔雑支出	当会バリアフリーツアースンターより、能登半島地震の支援物資として、車いすや簡易ベッド等 840 千円分を現地に送りました。

(2) 案内所

①福利厚生費	退職職員への花束代として 3 千円計上しました。
②広告宣伝費	案内所外壁看板を整備したことから、159 千円となりました。
③旅交交通費	県内開催の職員研修交通費として 5 千円計上しました。
④通信運搬費	ほぼ計画通りです。
⑤消耗品費	来場者増加に伴う配布物の追加印刷や故障した電化製品購入（掃除機など）のため予算を 479 千円上回る 879 千円となりました。
⑥新聞図書費	ほぼ予算通りです。
⑦修繕費	ほぼ予算通りです。
⑧光熱水料費	一昨年の地震で損壊した天井空調を新品に交換したことによる省エネ効果やコロナ終息のよる常時喚起を見直したことで予算額を 236 千円下回る 763 千円となりました。
⑨賃借料	ほぼ予算通りです。
⑩地代家賃	ほぼ予算通りです。
⑪委託料	来訪者に配布するMAPやスタッフ着用ユニフォームのデザインを作成したことで 135 千円となりました。
⑫支払手数料	ほぼ予算通りです。
⑬雑支出	ほぼ予算通りです。

(3) 法人税、住民税など

- ・今年度事業により、法人税や住民税等納税額の合計は 10,430 千円となりました。

次期繰越収支差額について

「ふるさと納税」事業を含めた全体での繰越額は 19,250 千円となります。繰越金額については次年度計画に反映をさせて参ります。

5 その他

- ・ふるさと納税事業の受託以降、急激に取扱額が増加したことによる金銭事故防止や納税業務を担う組織としての信頼性向上を目的とする経理統制及び内部牽制の取組として、外部特別監査制度を創設しております。毎年 1 回実施しており今回の監査は通算 4 回目となります。（報告書を別紙にて添付）

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
受取会費	3,455,000	3,465,000	▲10,000
正会員受取会費	3,455,000	3,465,000	▲10,000
事業収益	130,003,088	125,115,309	4,887,779
事業業収入	130,003,088	125,115,309	4,887,779
受取補助金等	92,566,295	86,935,000	5,631,295
受取地方公共団体補助金	92,566,295	86,935,000	5,631,295
受取寄付金	0	110,000	▲110,000
受取寄付金		110,000	▲110,000
雑収益	641,903	6,450,001	▲5,808,098
受取利息	1,650	1,675	▲25
雑収益	640,253	6,448,326	▲5,808,073
經常費用	226,666,286	222,075,310	4,590,976
事業費用	126,384,775	124,054,866	2,329,909
仕給料手当	3,905,524	5,915,214	▲2,009,690
福厚生費	4,111,179	4,513,224	▲402,045
利厚宣費	3,400		3,400
告宣伝費	11,002,931	10,843,520	159,411
旅費	4,136,044	3,013,237	1,122,807
通信運搬費	24,531,522	20,505,727	4,025,795
消耗品費	3,625,651	5,523,006	▲1,897,355
新聞図書費	92,920	144,900	▲51,980
新修印刷製本費	528,439	400,398	128,041
燃料水料費	7,731,412	6,622,897	1,108,515
熱水料費		15,133	▲15,133
光賃借料費	765,777	1,040,260	▲274,483
保諸險謝金	4,259,926	5,006,243	▲746,317
租税公課	6,650	1,652	4,998
支払負担金	12,608,933	8,124,386	4,484,547
委託手数料	5,050,183	4,724,002	326,181
管 理 費	253,000	62,000	191,000
給職給付費用	33,002,837	35,831,826	▲2,828,989
退福法会旅渉通減消新修印刷燃料賃	10,753,921	11,633,164	▲879,243
利厚生費	14,526	134,077	▲119,551
職給付費用	94,713,045	96,998,191	▲2,285,146
利厚生費	56,233,741	61,662,383	▲5,428,642
利厚生費	1,311,000	1,711,000	▲400,000
利厚生費	180,654	177,920	2,734
利厚生費	8,585,232	8,663,207	▲77,975
利厚生費	391,603	716,244	▲324,641
利厚生費	706,039	225,646	480,393
利厚生費	284,885	69,742	215,143
利厚生費	7,049,072	5,407,324	1,641,748
利厚生費	1,143,344	1,496,876	▲353,532
利厚生費	1,565,662	1,744,040	▲178,378
利厚生費	102,022	12,600	89,422
利厚生費	103,023	268,725	▲165,702
利厚生費	330,000		330,000
利厚生費	106,559	117,014	▲10,455
利厚生費	367,330	302,727	64,603
利厚生費	1,331,275	1,653,789	▲322,514

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
地 代 家 賃	8,254,400	8,074,508	179,892
保 険 料	561,150	639,580	▲78,430
諸 謝 金	2,474,000	1,504,000	970,000
租 税 公 課	106,950	291,970	▲185,020
支 払 手 数 料	1,355,400	1,152,092	203,308
支 払 負 担 金 （ 管 ）	1,319,004	1,096,504	222,500
支 払 寄 付 金	10,000	10,000	
雑 費	840,700	300	840,400
経 常 費 用 計	221,097,820	221,053,057	44,763
評価損益等調整前当期経常増減額	5,568,466	1,022,253	4,546,213
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	5,568,466	1,022,253	4,546,213
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
固 定 資 産 売 却 損	0	1	▲1
		1	▲1
経 常 外 費 用 計	0	1	▲1
当 期 経 常 外 増 減 額	0	▲1	1
他 会 計 振 替 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	5,568,466	1,022,252	4,546,214
法人税、住民税及び事業税	10,430,400	1,345,300	9,085,100
当期一般正味財産増減額	▲4,861,934	▲323,048	▲4,538,886
一般正味財産期首残高	22,204,591	22,527,639	▲323,048
一般正味財産期末残高	17,342,657	22,204,591	▲4,861,934
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,583,117	5,583,117	0
指定正味財産期末残高	5,583,117	5,583,117	0
Ⅲ 正味財産期末残高	22,925,774	27,787,708	▲4,861,934

貸 借 対 照 表

令和 6 年 3 月 31 日現在（決算）

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	323,076,288	259,387,374	63,688,914
現 普 通 預 金	70,243	56,590	13,653
仮 払 金	323,006,045	259,330,784	63,675,261
未 収 金	10		10
前 払 金	56,863,689	50,918,480	5,945,209
棚 卸 資 産	957,757	1,245,802	▲288,045
流 動 資 産 合 計	985,882	1,301,013	▲315,131
固 定 資 産	381,883,626	312,852,669	69,030,957
そ の 他 固 定 資 産			
建 物 附 属 設 備	1,744,054	1,919,652	▲175,598
車 両 運 搬 具	1	1	
什 器 備 品	375,279	554,028	▲178,749
敷 保 証 金	2,641,200	2,654,400	▲13,200
出 資 金	2,200,000	2,200,000	
そ の 他 の 固 定 資 産	735,000	735,000	
固 定 資 産 合 計	1,256,187	1,058,135	198,052
資 産 合 計	8,951,721	9,121,216	▲169,495
固 定 資 産 合 計	8,951,721	9,121,216	▲169,495
資 産 合 計	390,835,347	321,973,885	68,861,462
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金	19,799,798	23,192,880	▲3,393,082
未 払 法 人 税	10,430,400	1,345,300	9,085,100
預 り 金	329,943,475	264,049,997	65,893,478
未 払 消 費 税	2,459,900		2,459,900
流 動 負 債 合 計	362,633,573	288,588,177	74,045,396
固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	5,276,000	5,598,000	▲322,000
固 定 負 債 合 計	5,276,000	5,598,000	▲322,000
負 債 合 計	367,909,573	294,186,177	73,723,396
III 正 味 財 産 の 部			
指 定 正 味 財 産			
地 方 公 共 団 体 補 助 金	4,758,117	4,758,117	
負 担 金	150,000	150,000	
寄 付 金	675,000	675,000	
指 定 正 味 財 産 合 計	5,583,117	5,583,117	0
一 般 正 味 財 産	17,342,657	22,204,591	▲4,861,934
正 味 財 産 合 計	22,925,774	27,787,708	▲4,861,934
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	390,835,347	321,973,885	68,861,462

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
事業活動収入				
会費収入	3,000,000	3,455,000	△455,000	
正会員会費収入	3,000,000	3,455,000	△455,000	
事業収入	98,000,000	130,003,088	△32,003,088	
事業収入	98,000,000	130,003,088	△32,003,088	
補助金等収入	84,773,000	92,566,295	△7,793,295	
地方公共団体補助金収入	84,773,000	92,566,295	△7,793,295	
雑収入	0	641,903	△641,903	
受取利息収入		1,650	△1,650	
雑収入		640,253	△640,253	
事業活動収入計	185,773,000	226,666,286	△40,893,286	
事業活動支出				
事業費支出	71,373,000	126,384,775	△55,011,775	
仕入	1,000,000	3,905,524	△2,905,524	
給料手当支出	3,330,000	4,111,179	△781,179	
事業費支出	147,233	147,233		
福利厚生費支出		3,400	△3,400	
広告宣伝費	2,300,000	11,002,931	△8,702,931	
旅費交通費支出	1,000,000	4,136,044	△3,136,044	
通信運搬費支出	15,185,200	24,531,522	△9,346,322	
消耗品費支出	3,775,000	3,625,651	149,349	
新修繕費支出	90,000	92,920	△2,920	
印刷製本費支出	250,000	528,439	△278,439	
光熱水料費支出	3,450,000	7,731,412	△4,281,412	
賃借料支出	1,000,000	765,777	234,223	
保険料支出	2,260,000	4,259,926	△1,999,926	
諸謝金支出		6,650	△6,650	
租税公課支出		12,608,933	△12,608,933	
負担金支出	9,600,000	5,050,183	4,549,817	
委託費支出		253,000	△253,000	
支払手数料	19,856,000	33,002,837	△13,146,837	
雑支出	8,129,567	10,753,921	△2,624,354	
管理費支出		14,526	△14,526	
給料手当支出	98,701,907	93,891,701	4,810,206	
退職給付支出	75,316,907	56,233,741	19,083,166	
退職給付支出	1,560,000		1,560,000	
福利厚生費支出		1,633,000	△1,633,000	
法定福利費		180,654	△180,654	
会議費支出		8,585,232	△8,585,232	
旅費交通費支出	400,000	391,603	8,397	
渉外費支出	456,000	706,039	△250,039	
通信運搬費支出		284,885	△284,885	
消耗品費支出	1,350,000	7,049,072	△5,699,072	
新修繕費支出		1,565,662	△1,565,662	
印刷製本費支出	20,000	102,022	△82,022	
燃料費支出	119,000	103,023	15,977	
光熱水料費支出	140,000	330,000	△190,000	
賃借料支出	100,000	106,559	△6,559	
地家賃支出	600,000	367,330	232,670	
火災保険料支出	2,000,000	1,331,275	668,725	
諸謝金支出	8,300,000	8,254,400	45,600	
	640,000	561,150	78,850	
	1,700,000	2,474,000	△774,000	

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
租 税 公 課 支 出	1,800,000	106,950	1,693,050	
負 担 金 支 出	2,500,000	1,319,004	1,180,996	
支 払 手 数 料	1,700,000	1,355,400	344,600	
寄 付 金 支 出		10,000	▲10,000	
雑 支 出		840,700	▲840,700	
他会計への繰入金支出	100,000	10,430,400	▲10,330,400	
法人税、住民税等	100,000	10,430,400	▲10,330,400	
事業活動支出計	170,174,907	230,706,876	▲60,531,969	
事業活動収支差額	15,598,093	▲4,040,590	19,638,683	
Ⅱ 投資活動収支の部				
投資活動収入				
敷金・保証金戻り収入	0	13,200	▲13,200	
敷金戻り収入		13,200	▲13,200	
投資活動収入計	0	13,200	▲13,200	
投資活動支出				
固定資産取得支出	0	987,049	▲987,049	
その他の固定資産購入支出		987,049	▲987,049	
投資活動支出計	0	987,049	▲987,049	
投資活動収支差額	0	▲973,849	973,849	
Ⅲ 財務活動収支の部				
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出				
当期収支差額	15,598,093	▲5,014,439	20,612,532	
前期繰越収支差額	0	24,264,492	▲24,264,492	
次期繰越収支差額	15,598,093	19,250,053	▲3,651,960	

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：収益事業

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
経 常 増 減 の 部			
経 常 収 益			
事 業 収 益	110,108,661	79,327,811	30,780,850
事 業 収 入	110,108,661	79,327,811	30,780,850
受 取 補 助 金 等	0	2,245,000	△2,245,000
受 取 地 方 公 団 体 補 助 金		2,245,000	△2,245,000
雑 収 益	567,615	5,751,106	△5,183,491
受 取 利 息	1,412	1,423	△11
受 雑 収 益	566,203	5,749,683	△5,183,480
経 常 収 益 計	110,676,276	87,323,917	23,352,359
経 常 費 用			
事 業 費	55,045,277	45,482,094	9,563,183
仕 給 料 手 当	1,302,694	1,030,263	272,431
給 告 宣 伝 費		632,200	△632,200
広 告 交 通 費	99,000	99,198	△198
旅 費 運 搬 費	2,000	144,692	△142,692
通 信 耗 品 費	22,350,141	17,301,501	5,048,640
消 耗 品 費	1,180,847	641,134	539,713
修 繕 本 費	173,140	82,500	90,640
印 刷 製 本 費	685,850	963,006	△277,156
賃 借 料	1,514,040	1,534,220	△20,180
諸 謝 金	8,532,240	5,741,500	2,790,740
租 税 公 課	4,894,514	3,484,016	1,410,498
委 託 費	5,898,500	6,050,300	△151,800
支 払 手 数 料	8,411,705	7,652,275	759,430
雑 費	606	125,289	△124,683
管 理 費	24,533,625	34,199,938	△9,666,313
給 料 手 当	17,463,641	26,813,267	△9,349,626
法 定 福 利 費	905,327	3,121,370	△2,216,043
通 信 運 搬 費	6,042,891	4,103,672	1,939,219
減 価 償 却 費	117,272	161,629	△44,357
支 払 手 数 料	4,494		4,494
経 常 費 用 計	79,578,902	79,682,032	△103,130
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	31,097,374	7,641,885	23,455,489
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	31,097,374	7,641,885	23,455,489
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
他 会 計 振 替 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	31,097,374	7,641,885	23,455,489
他 会 計 振 替 額	△11,010,700	0	△11,010,700
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	20,086,674	7,641,885	12,444,789
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	10,430,400	1,345,300	9,085,100
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	9,656,274	6,296,585	3,359,689
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	48,376,934	42,080,349	6,296,585
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	58,033,208	48,376,934	9,656,274
II 指定正味財産増減の部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：収益事業

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅲ 正味財産期末残高	58,033,208	48,376,934	9,656,274

貸 借 対 照 表

令和 6 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：収益事業

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	305,486,662	248,461,961	57,024,701
現 金	70,243	56,590	13,653
普 通 預 金	305,416,419	248,405,371	57,011,048
仮 払 金	10	▲2,860	2,870
未 収 金	49,952,362	26,421,541	23,530,821
前 払 金		60,500	▲60,500
棚 卸 資 産	985,882	1,301,013	▲315,131
他 会 計 貸 借 勘 定	48,532,874	41,607,476	6,925,398
流 動 資 産 合 計	404,957,790	317,849,631	87,108,159
固 定 資 産			
そ の 他 固 定 資 産	630,412	253,614	376,798
そ の 他 固 定 資 産 合 計	630,412	253,614	376,798
固 定 資 産 合 計	630,412	253,614	376,798
資 産 合 計	405,588,202	318,103,245	87,484,957
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金	5,914,166	5,760,197	153,969
未 払 法 人 税 等	10,430,400	1,345,300	9,085,100
預 り 金 等	328,634,928	262,620,814	66,014,114
未 払 消 費 税 等	2,575,500		2,575,500
流 動 負 債 合 計	347,554,994	269,726,311	77,828,683
負 債 合 計	347,554,994	269,726,311	77,828,683
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	58,033,208	48,376,934	9,656,274
正 味 財 産 合 計	58,033,208	48,376,934	9,656,274
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	405,588,202	318,103,245	87,484,957

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：収益事業

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
事業活動収入				
事業収入	98,000,000	110,108,661	▲12,108,661	
事業収入	98,000,000	110,108,661	▲12,108,661	
雑収入	0	567,615	▲567,615	
受取利息収入		1,412	▲1,412	
雑収入		566,203	▲566,203	
事業活動収入計	98,000,000	110,676,276	▲12,676,276	
事業活動支出				
事業費支出	43,397,000	55,045,277	▲11,648,277	
仕業費支出	1,000,000	1,302,694	▲302,694	
事業費支出	147,233		147,233	
広告宣伝費	2,300,000	99,000	2,201,000	
旅交通費		2,000	▲2,000	
通信運搬費	14,735,200	22,350,141	▲7,614,941	
消耗品費	3,375,000	1,180,847	2,194,153	
修繕費		173,140	▲173,140	
印刷製本費	450,000	685,850	▲235,850	
貸借料	1,560,000	1,514,040	45,960	
諸謝金		8,532,240	▲8,532,240	
租税公課	9,600,000	4,894,514	4,705,486	
委託費	2,400,000	5,898,500	▲3,498,500	
支払手数料	7,829,567	8,411,705	▲582,138	
雑支出		606	▲606	
管理費支出	0	24,416,353	▲24,416,353	
給料手当		17,463,641	▲17,463,641	
法定福利費		905,327	▲905,327	
通信運搬費		6,042,891	▲6,042,891	
支払手数料		4,494	▲4,494	
他会計への繰入金	100,000	17,360,700	▲17,260,700	
他会計への繰入金		11,010,700	▲11,010,700	
法人税、住民税等	100,000	6,350,000	▲6,250,000	
事業活動支出計	43,497,000	96,822,330	▲53,325,330	
事業活動収支差額	54,503,000	13,853,946	40,649,054	
II 投資活動収支の部				
投資活動支出				
固定資産取得	0	494,070	▲494,070	
その他の固定資産購入		494,070	▲494,070	
投資活動支出計	0	494,070	▲494,070	
投資活動収支差額	0	▲494,070	494,070	
III 財務活動収支の部				
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額	54,503,000	13,359,876	41,143,124	
前期繰越収支差額	0	48,123,320	▲48,123,320	
次期繰越収支差額	54,503,000	61,483,196	▲6,980,196	

財 産 目 録

令和 6 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流 動 資 産)			
現普通預金	手元有り高		70,243
	東邦銀行西福島支店	438365	17,589,626
	東邦銀行西福島支店	440165	2,354,067
	東邦銀行西福島支店	496632	
	東邦銀行西福島支店	498210	
	東邦銀行西福島支店	501873	303,029,809
	ゆうちょ銀行	18290-17736251	32,543
仮払金	従業員	経費分払い	10
	福島市	補助金、委託料	56,094,811
	その他	会費、韓旋手数料他	768,878
前払金	東北総合サービス株	4月分家賃、駐車料金	471,900
	株式会社設備設計事務	4月分家賃、駐車料金	217,800
	テルウェル東日本	火災通報装置保守料	62,040
	その他		206,017
棚卸資産	ももりんグッズ		985,882
流動資産合計			381,883,626
(固 定 資 産)			
その他固定資産			
建物附属設備	事務所	事務所工事、自動ドア、設備工事	1,744,054
車両運搬具	サクシード		1
什器備品	耐火金庫、プリンター		375,279
敷金	東北総合サービス株	事務所敷金	2,145,000
	酪農会館	事務所敷金	483,000
	株スワローツアー	駐車場敷金	13,200
保証金	(社)全動行業協会	共済業務保証金	2,200,000
出資金	株インフォメーションネットワーク	2株	100,000
	福島市観光開発株	176株	575,000
	福島県旅行業協組	1口	50,000
	福島中小企業労務	1口	10,000
その他の固定資産	一括償却資産	パソコン他	1,256,187
固定資産合計			8,951,721
資産合計			390,835,347
(流 動 負 債)			
未払金	ふるさと納税事業者	返礼品代	2,083,027
	その他	給料、印刷物・事務用・消耗品他	17,716,771
未払法人税等	福島税務署 他	確定法人税 県民税、市民税	10,430,400
預り金	商品券	宿泊補助券	710,000
	従業員	社会保険料、所得税、住民税	752,073
	ふるさと納税	未発送返礼品、発送代、ポイント代	328,481,402
未払消費税等			2,459,900
流動負債合計			362,633,573
(固 定 負 債)			
退職給付引当金			5,276,000
固定負債合計			5,276,000
負債合計			367,909,573
正味財産			22,925,774

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のないもの 移動平均法による原価法

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(4) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物、平成28年4月1日以降に取得した附属設備、構築物は定額法）を採用しています。

無形固定資産 定額法によっている。

(5) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(6) リース取引関係

(1) ファイナンス、リース取引

該当なし

(2) オペレーティング、リース取引

オペレーティング、リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

当期末

1年内 1, 514, 040円

1年超 2, 271, 060円 合計 3, 785, 100円

(7) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当なし	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0

5. 担保に供している資産

該当なし

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会

事業名：事業全体

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	6,206,975	4,462,921	1,744,054
車輛運搬具	1,490,550	1,490,549	1
什器備品	1,938,780	1,563,501	375,279
その他の固定資産	3,249,556	1,993,369	1,256,187
合 計	12,885,861	9,510,340	3,375,521

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の 名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
船運運営補助金	福島市	0	81,408,000	81,408,000	0	一般正味財産
観光コンテンツ創造支援	福島市	0	400,000	400,000	0	一般正味財産
観光地域づくり法人の体制 強化事業	観光庁	0	1,272,735	1,272,735	0	一般正味財産
高付加価値化事業	観光庁	0	2,500,000	2,500,000	0	一般正味財産
インバウンド	観光庁	0	6,985,560	6,985,560	0	一般正味財産
合 計		0	92,566,295	92,566,295	0	

8. 重要な後発事象

(1)

該当なし

9. 退職給付関係

(1)採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

附属明細書

法人名：一般社団法人福島市観光コンベンション協会
事業名：事業全体

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載があるため省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	5,598,000	1,311,000	1,633,000	0	5,276,000